ONKYO

CD/MD チューナーアンプシステム

X-N3X

FR-N3X（CD/MDチューナーアンプ）
D-N3X（スピーカーシステム）

取扱説明書

MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

X-N3X(Cover)(SN29343348A) 2 02.11.18, 1:37 PM

目次

基本編

始めに

接続をする

基本の操作

時刻を設定する

CDを聞く

MDを聞く

ラジオを聞く

MDに録音する

その他

応用編

外部機器を接続する

こんなこともできます

こんなこともできます

こんなこともできます

こんなこともできます

録音の設定

こんなこともできます

MDグループ機能

こんなこともできます

曲の編集

主な特長 / 付属品

本システムはCD/MDチューナーアンプ(FR-N3X)とスピーカーシステム(D-N3X)で構成されています。
カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品名の色を表す記号です。

■高速演算ATRAC搭載
■CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link(リンク)（Digital(デジタル) Rec(レック) Level(レベル) Adjustment(アジャストメント)）機能
■デジタル録音ボリューム搭載
■長時間録音モード（2倍／4倍）MDLP対応
■CD→MD倍速ダビング機能
■たくさん入った曲を整理するMDグループ機能
■CDテキスト対応　MD録音時にCDテキストもコピー可能
■MDネーム入力をさらに快適にする カンタンネーム機能
■光デジタル出力端子装備
■広帯域な次世代メディアのポテンシャルも引き出すWRAT（Wide(ワイド) Range(レンジ) Amplifier(アンプリファイヤー) Technology(テクノロジー)）
■充実した外部入出力端子（CD-R、LINE）
■FMオートプリセット可能。30局メモリー搭載チューナー
■オンキヨー製デジタルシアターシステムUXW-3.1専用入出力端子装備。UXW-3.1との組み合わせで5.1ch再生可能

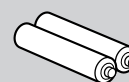
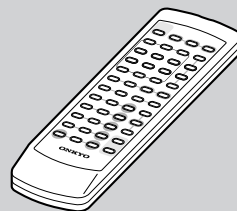
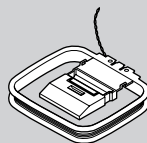
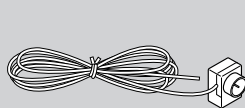
付属品

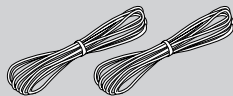
本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。(　)内の数字は数量をあらわしています。

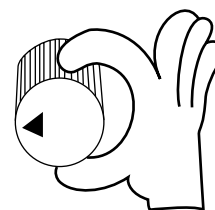
● FM室内アンテナ（1）

● AM室内アンテナ（1）

● リモコン－RC-491S（1）

● 単3乾電池（2）

● スピーカーコード（2）

● 取扱説明書（本書1）
● 保証書（1）

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

- スピーカー内部、本機の通風孔、ミニディスクの挿入口やCDトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠警告

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

● 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
● 移動させる場合は、チューナーアンプの電源を切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になることがあります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ

● スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
● 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
● お子様がミニディスク挿入口やCDトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

⚠注意

■ 使用上の注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。

年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

X-N3X(P02-07)(SN29343348A) 7 02.11.18, 1:38 PM

取り扱いについて

● お手入れについて
製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

● カラーテレビやパソコンとの近接使用について
一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
D-N3Xは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

● 取り扱い上のご注意
D-N3Xは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

D-N3Xのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

● 結露について
FR-N3Xを冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、FR-N3Xの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。FR-N3Xをご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、FR-N3Xの電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

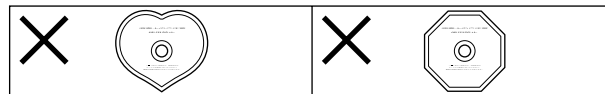
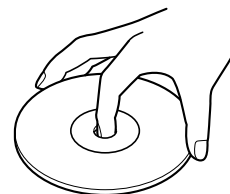
● メモリー保持について
FR-N3Xには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。FR-N3Xの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。

CD について

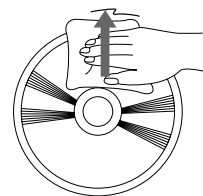
● 演奏上のご注意
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

● 取り扱いについて
演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

● レンタルCDの注意について
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

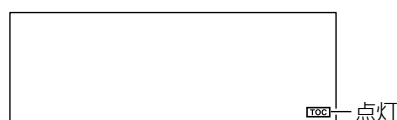
● お手入れについて
汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

● 保管上の注意について
直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

● CDテキストについて
CDテキストとはCDのディスク、曲、アーティスト名などの文字情報（アルファベット、記号、数字）のことです。
市販のCDでこれらの文字情報が記録されているものには、右記のマークが付いています。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　CD TEXT

MDについて

MDには再生専用と、録音用の2種類があります。
途中まで録音してあるMDの場合、最後の曲のあとに録音されます。曲番も最後の曲番のあとから順についていきます。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents）に書き込まれます。

● **TOC表示が点灯しているとき**
（録音中や名前をつけたときなど）
MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

● **TOC表示が点滅しているとき**
（録音停止時やディスクを取り出すときなど）
MDに情報を書き込んでいる最中です。

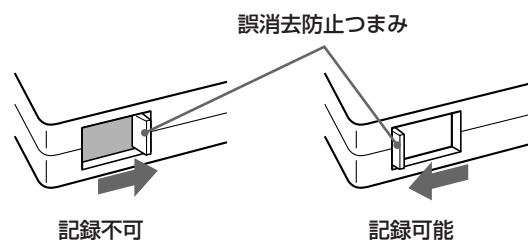
この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は停電前の記録内容は消去されます。

シリアルコピーマネージメントシステム
デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。
MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

●内部のディスクに直接触れないでください
ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

●置き場所について
直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所には置かないでください。

●長時間使用しないときは
MDが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

●定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

各部の名前と主な働き

◆本体前面

MD挿入口
MDを挿入します。

GROUPボタン
グループを選択するときに使用します。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選べます。

TIMERボタン
タイマー機能を使用するときに押します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

STANDBYインジケーター
スタンバイ時に点灯します。

EDIT/CLEAR/NOボタン
録音、再生などの各設定や各編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消すときに押します。

MODE/YESボタン
録音、再生などの各設定や各編集で表示どうりに決定するときに押します。

PHONES端子
ヘッドホンのミニプラグを接続します。ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音は聞こえなくなります。

リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

CD DUBBINGボタン
CD DUBBINGを開始するときに押します。

MD ●RECボタン
MDを録音待機状態にします。

◀◀/▶▶ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。
文字入力時、カーソル移動にも使用します。
放送受信時は、周波数の選択にも使用します。

MD■ボタン
再生、録音を停止します。

MD▲ボタン
MDを取り出すときに押します。

MD▶/❚❚ボタン
再生や録音を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。
もう一度押すと再生状態に戻ります。

CD/MDボタン
CDとMDが押すごとに切り換わります。

FM/AMボタン
FMとAMが押すごとに切り換わります。

OTHER INPUTSボタン
CD-R/LINEの各入力が押すごとに切り換わります。

音量調節つまみ
音量を調節します。

VOLUME SYNCHROインジケーター
電源が入るとオレンジ色に点灯します。
UXW-3.1接続時は、緑色に点灯します。

CD▲ボタン
CDを取り出すときに押します。

TONE/S. BASSボタン
音質、重低音を切り換えます。

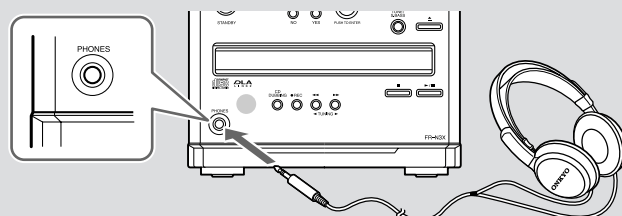
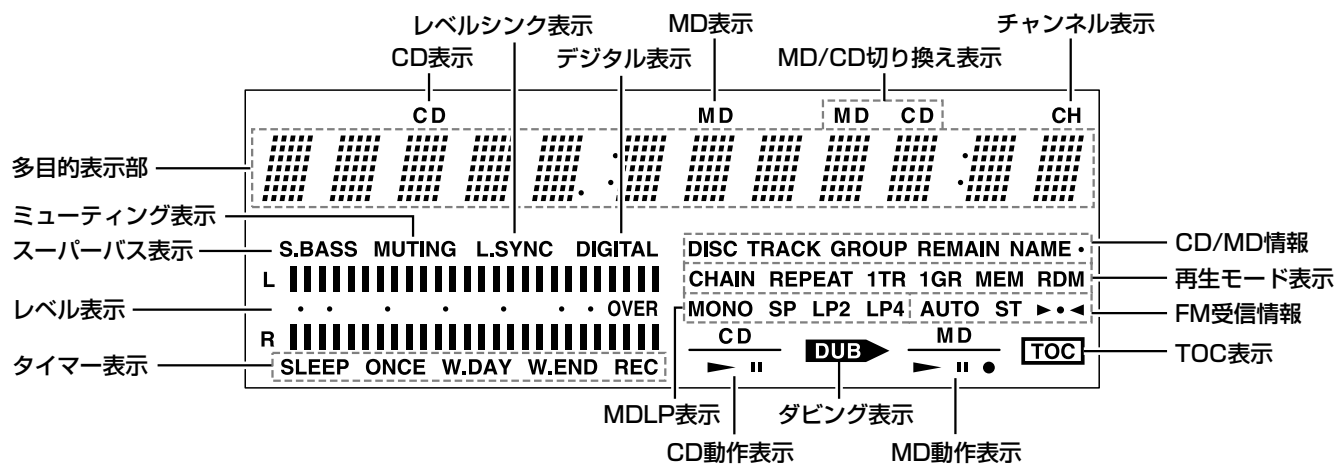
CD▶/❚❚ボタン
再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。もう一度押すと再生状態に戻ります。

CD■ボタン
再生を停止します。

MULTI JOGダイヤル
プリセットチャンネルや、再生する曲を選べます。編集の種類を選んだり、文字を入力するときに文字を選びます。
押すと各設定を確定します。

CDトレイ
CDをセットします。

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。
接続するときは音量を下げてください。
スピーカーの音声は消えます。

◆表示部

◆リモコン

FM/AMボタン
FMとAMが押すごとに切り換わります。

CD/MDボタン
CDとMDが押すごとに切り換わります。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

文字、記号、アルファベット、数字ボタン
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。
また選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

⏮/⏭ボタン
前後の曲を選ぶことができます。
押すたびに前または後に曲番がスキップします。
プリセット選局にも使用します。

◀◀/▶▶ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。文字入力時、カーソル移動にも使用します。周波数の選択にも使用します。

CD操作ボタン
- ⏸：再生の一時停止をします。
- ■：再生を停止します。
- ▶：再生を始めます。

MD操作ボタン
- ⏸：再生・録音を一時停止します。
- ■：再生・録音を停止します。
- ▶：再生・録音(録音一時停止から)を始めます。

別売のオンキヨー製CDR操作ボタン
- ⏸：再生・録音を一時停止します。
- ■：再生・録音を停止します。
- ▶：再生・録音(録音一時停止から)を始めます。

別売のオンキヨー製DVD操作ボタン
- ⏸：再生の一時停止をします。
- ■：再生を停止します。
- ▶：再生を始めます。

別売のオンキヨー製カセットテープデッキ操作ボタン
- ◀：B(裏)面を再生します。
- ■：再生・録音や早送り、巻戻しを停止します。
- ▶：A(表)面を再生します。

OTHER INPUTSボタン
LINE/CD-Rが押すごとに切り換わります。

NAMEボタン
文字入力をするときに使用します。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。
文字入力時、文字の種類を選べます。

SCROLLボタン
表示部に表示された文字を移動表示します。
文字入力時、文字の種類を選べます。

ENTERボタン
録音、再生などの各設定や各編集で表示どうりに決定するときに押します。

GROUPボタン
グループを選択します。

CLEARボタン
メモリーや設定内容を取り消すときに押します。
文字を削除するときにも使用します。

MODEボタン
FM放送の受信モードを切り換えます。
CDやMDの再生モードを切り換えます。

SLEEPボタン
お好みの時刻に電源を切るスリープタイマーの設定に使用します。

CLOCK CALLボタン
現在時刻を表示させるときに押します。

SURROUNDボタン
UXW-3.1と組み合わせるとき、サラウンドモードを切り換えます。

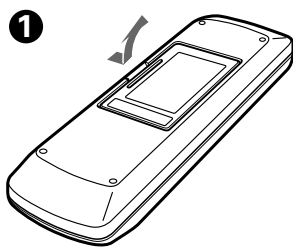
S. BASSボタン
重低音を切り換えます。

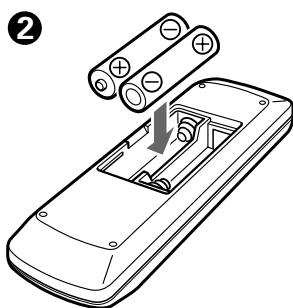
MUTINGボタン
音量を一時的に小さくするときに押します。

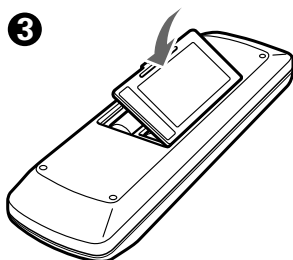
VOLUME ▲/▼ボタン
音量を調節します。

リモコンを準備する

◆乾電池を入れる

❶

カバーを矢印の方向に持ち上げてはずす。

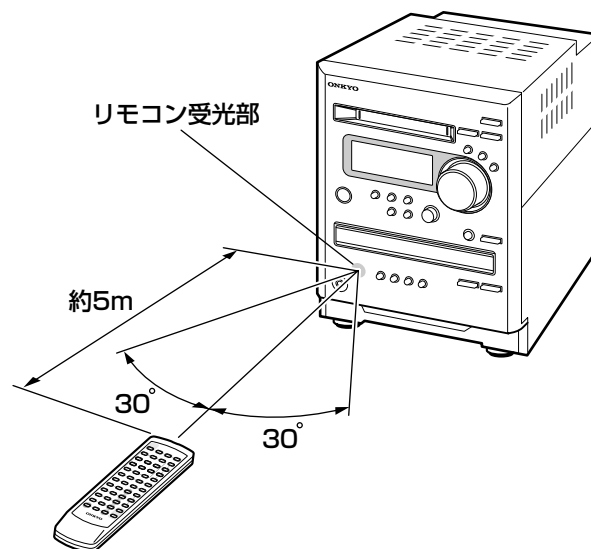
❷

中の極性表示にしたがって、付属の電池２個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる。

❸

カバーを戻す。

ご注意

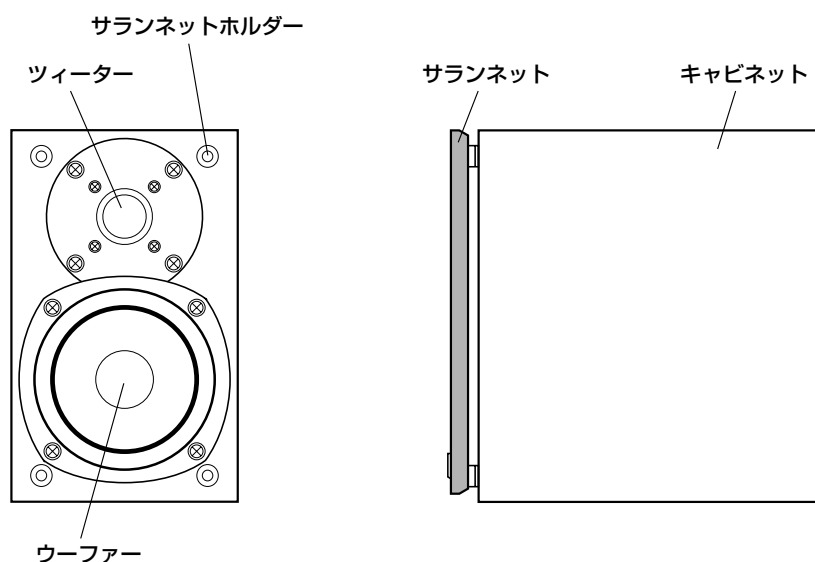
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

◆リモコンを使うには

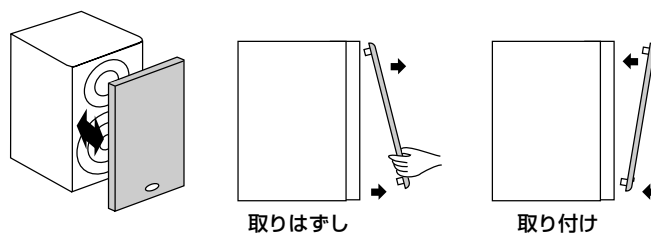
リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

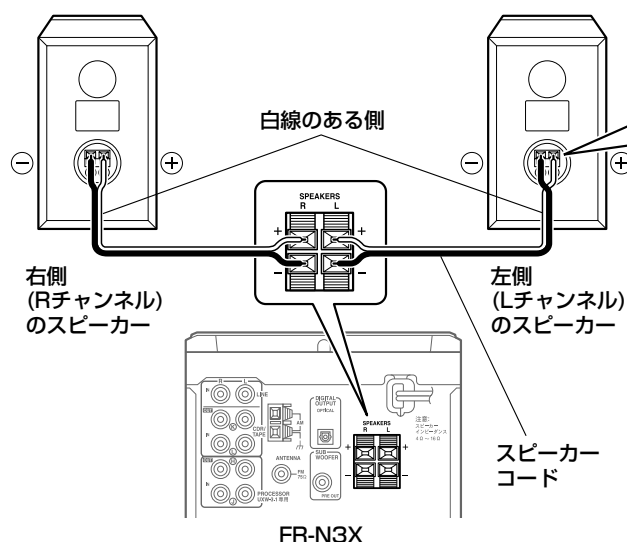
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

スピーカーについて

◆スピーカー（D-N3X）各部の名前

◆サランネットの脱着について

このスピーカーは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるサランネット取り付けピンを本体のサランネットホルダーに合わせて押し込みます。

本機の接続をする

◆スピーカーを接続する

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

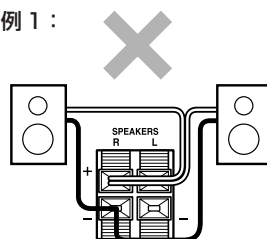
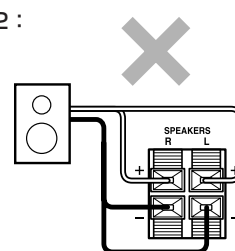
2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

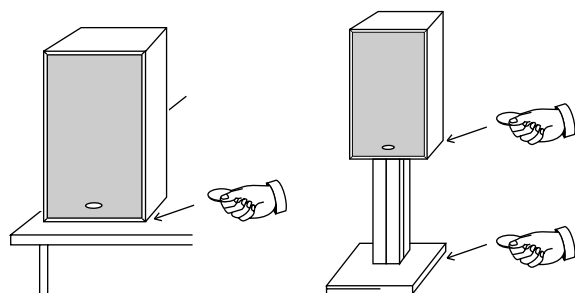
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のR(右)に、左側に設置するスピーカーはL(左)に接続してください。
- スピーカーの(+)と本体の(+)を、スピーカーの(−)と本体の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの白線がある方を(+)側に接続してください。

- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線を絶対に接触させないでください。

- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

例1：

例2：

◆スピーカーの設置について

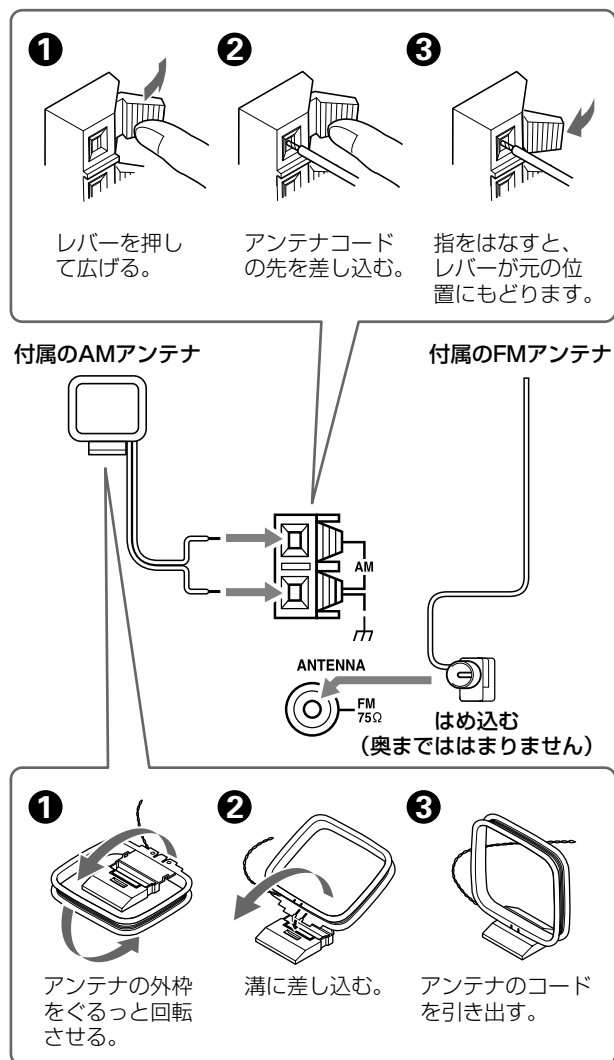
スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- スピーカースタンドと床との間、またはスピーカーとスピーカースタンドとの間にガタツキがあると、質の良い低音が得られませんので、コルク円板またはコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

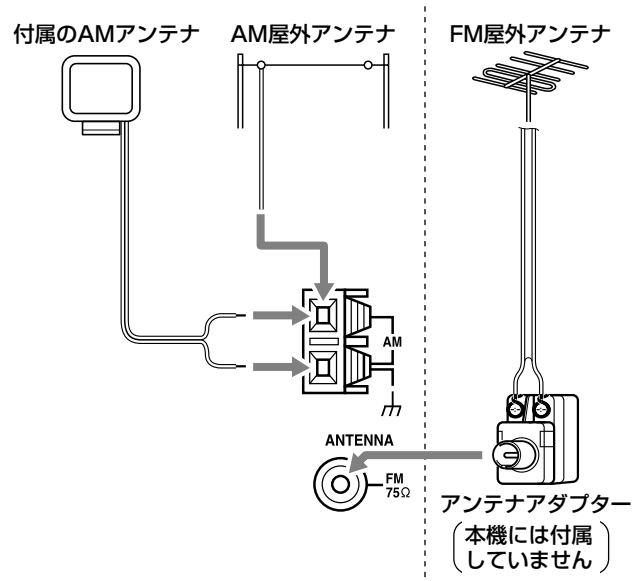
ご注意

- D-N3Xのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。
傾斜した場所や強度の低い台などに設置すると転倒や落下の危険があるだけでなく、音質的にも好ましくありません。

◆付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います（☞29ページ）。

!ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、極性などによる区別は有りません。）

◆FM/AM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

!ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

⚠送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などで付属のAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

ご注意

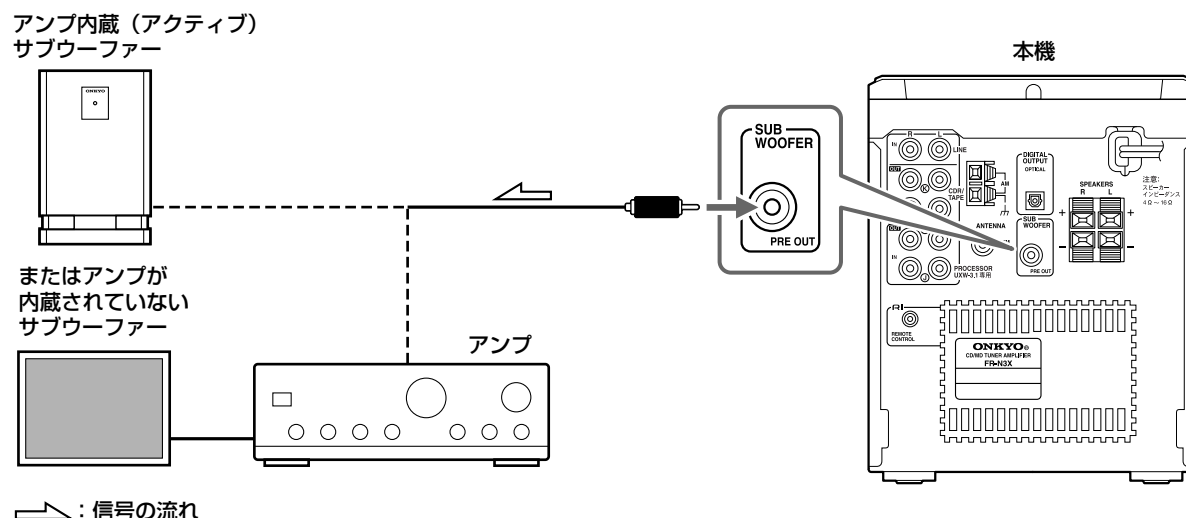
AM屋外アンテナを接続するときも、必ず付属のAM室内アンテナを接続しておいてください。

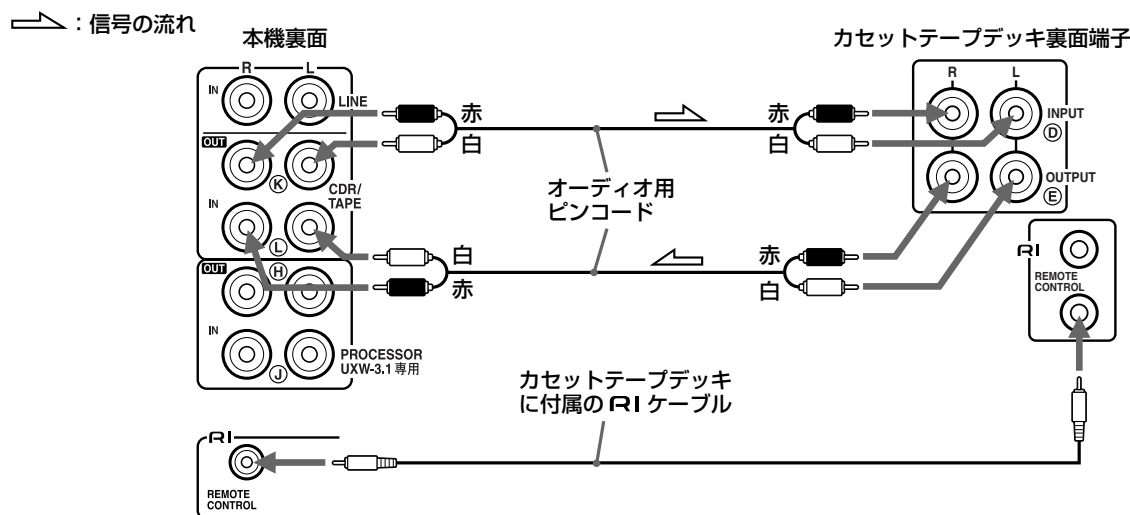
外部機器を接続する

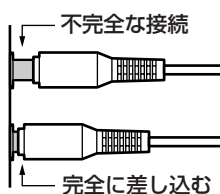
すべての接続が終わってから電源を入れてください。

⊘ 設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。

◆ サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を使うか、アンプを本機に接続してからサブウーファーをアンプに接続してください。

◆ オンキヨー製カセットテープデッキとの接続 （下図は別売のオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

本機のCDR/TAPE OUT端子Ⓚとカセットテープデッキの INPUT端子Ⓓを接続してください。
本機のCDR/TAPE IN端子Ⓛとカセットテープデッキの OUTPUT端子Ⓔをそれぞれ接続してください。

ご注意

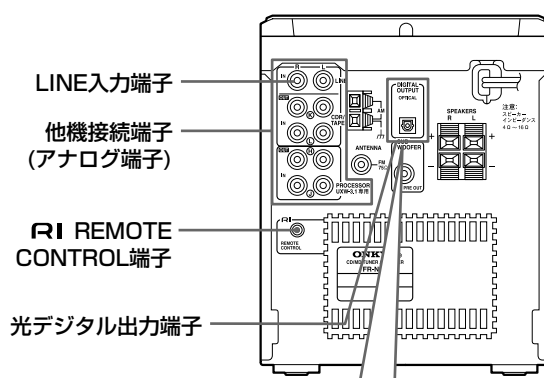
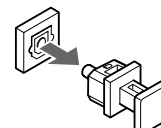
- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

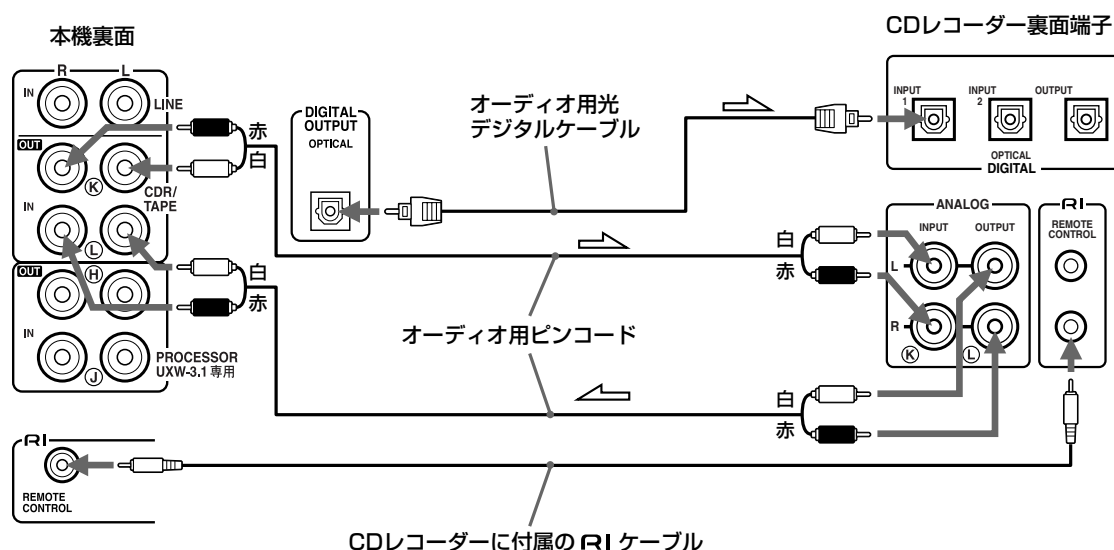
- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞ 37ページ）
- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「CD-R」ですので、表示名称を変更してください。☞ 68ページ）

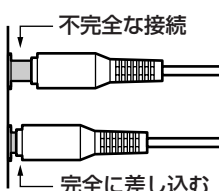
光デジタル出力端子（DIGITAL OUT）について

市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用してデジタル（OPTICAL）入力端子付きのCDレコーダーやDATなどを接続すると、接続機器でのデジタル入力録音ができます。

LINE入力端子について

この端子には、DVD、CSチューナー、BSチューナー、ビデオなどの音声出力を接続することができます。接続する機器の出力（OUTPUT）端子を接続してください。

◆オンキヨー製CDレコーダーを接続する（下図は別売のオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

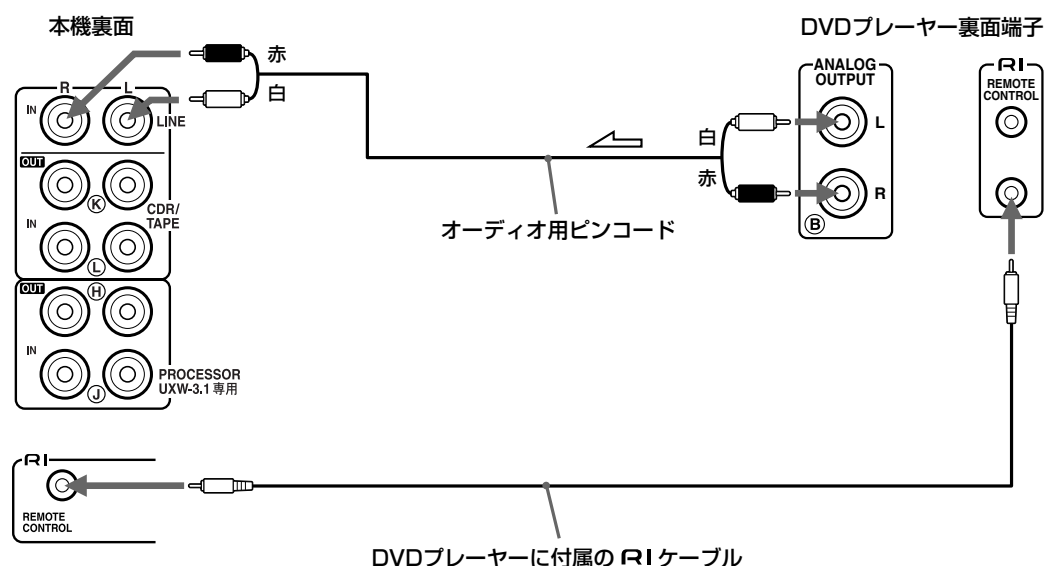
本機のCDR/TAPE OUT端子Ⓚとトの CDレコーダーのINPUT（REC）端子Ⓚを接続してください。
本機のCDR/TAPE IN端子ⓁとCDレコーダーのOUTPUT（PLAY）端子Ⓛを接続してください。

ご注意

- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

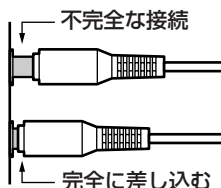
- 本機付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。
- 本機にCDレコーダーとカセットテープデッキを接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「CD-R」ですので、そのままお使いください。）

外部機器を接続する（つづき）

◆オンキヨー製DVDプレーヤーとの接続（下図は別売のオンキヨー製DVDプレーヤーとの接続例です。）

本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのANALOG OUTPUT端子Ⓑを接続してください。

ご注意

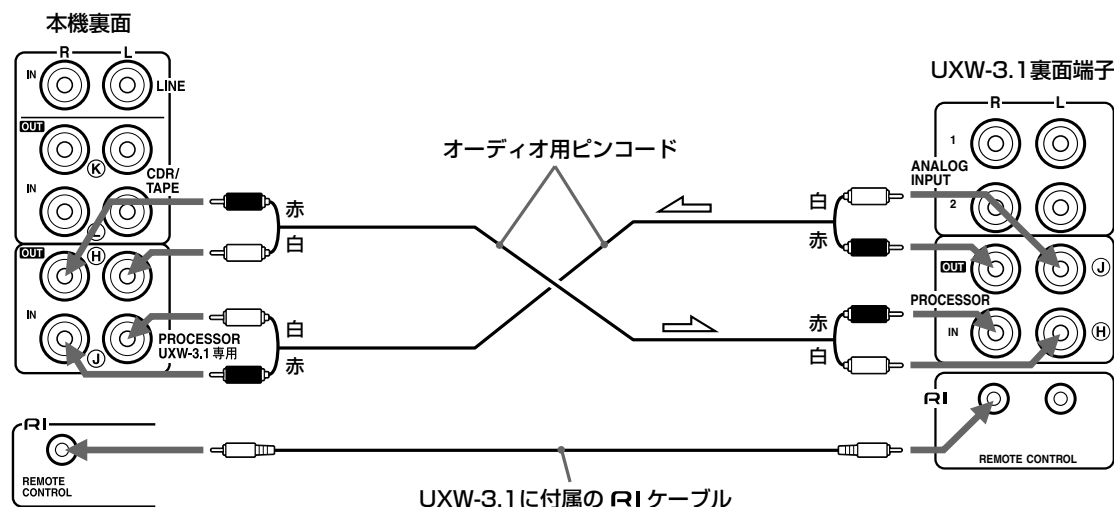
- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

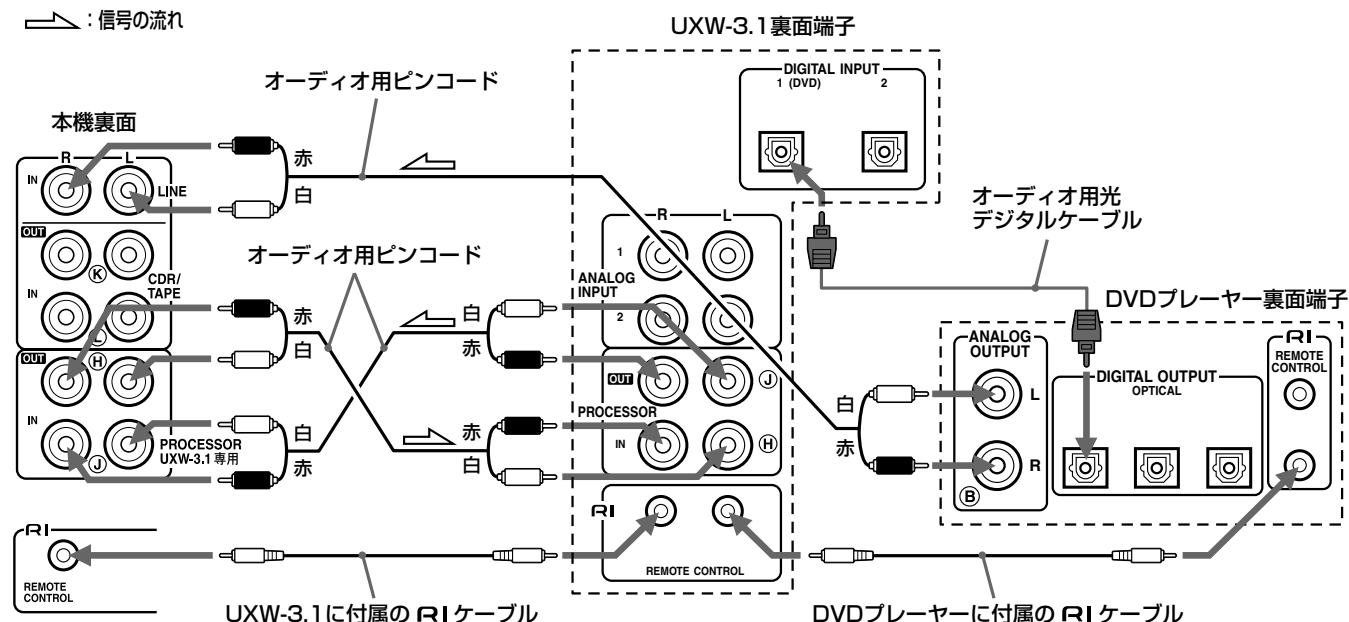
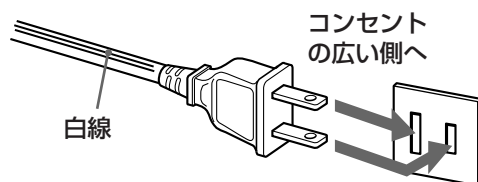
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

RI端子を接続すると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製DVDプレーヤーを操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製DVDプレーヤーを再生すると、本機の入力が自動的にDVDに切り換わります。
- オーディオ用ピンコードとRIケーブルのみを接続した場合は、外部入力の表示名称を「DVD」にする必要があります。（☞ 68ページ）お買い上げ時は「LINE」に設定されています。

本機は2つのスピーカーから出力するステレオ再生機器ですが、別売のUXW-3.1を使用すると5.1ch再生をお楽しみいただけます。

◆オンキヨー製デジタルシアターシステム（UXW-3.1）を接続する

本機のPROCESSOR OUT端子Ⓗと UXW-3.1のPROCESSOR IN端子Ⓗを接続してください。
本機のPROCESSOR IN端子ⒿとUXW-3.1のPROCESSOR OUT端子Ⓙを接続してください。
RI端子にRIケーブルを接続してください。RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。

◆オンキヨー製デジタルシアターシステムとDVDプレーヤーを接続する

本機のPROCESSOR OUT端子ⒽとUXW-3.1のPROCESSOR IN端子Ⓗを接続してください。本機のPROCESSOR IN端子ⒿとUXW-3.1のPROCESSOR OUT端子Ⓙを接続してください。
DVDプレーヤーのデジタル音声出力端子をUXW-3.1のDIGITAL INPUT1（DVD）に接続し、UXW-3.1の入力名称は「DVD/dig」に設定してください。（UXW-3.1の取扱説明書をご覧ください。）
オンキヨー製品とRI連動させる、またはDVDをアナログ録音する場合は、本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのアナログ音声出力端子を接続してください。本機の外部入力の表示名称を「LINE」から「DVD」に設定してください。（☞ 68ページ）
RI端子にRIケーブルを接続してください。RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。

電源コードを接続する

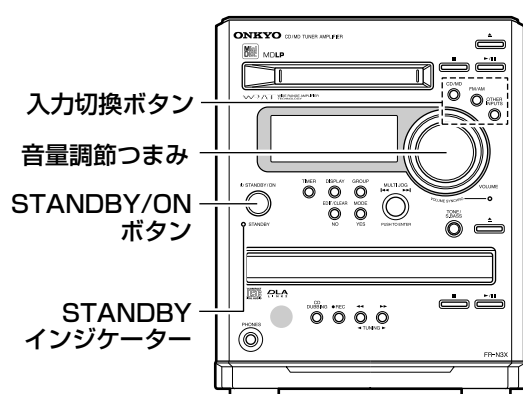
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態になり、STANDBYインジケーターが点灯します。

より良い音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性管理がされています。電源コードの白線側を家庭用の電源コンセントの溝の広いほうに合わせて差し込んでください。

家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

操作の前に共通の基本操作を理解する

STANDBY/ON
ボタン
入力切換ボタン
VOLUME ▲▼ ボタン

◆電源を入れる

本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。電源を切るときは同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製CDレコーダーやカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機の電源を入/切しますと、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

◆音量を調節する

本体の音量調節つまみを回すか、リモコンのVOLUME ▲/▼ボタンを押します。

◆入力を切り換える

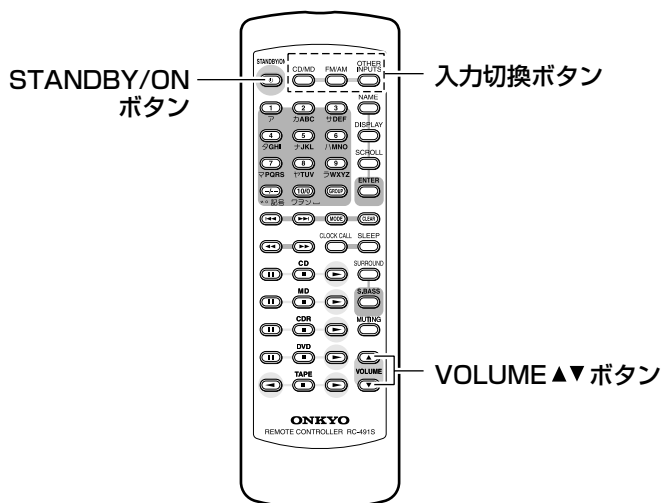
本機の入力にはCD、MD、FM/AM放送、接続した各外部機器（CD-R、LINE）があります。入力を選択するには対応する入力切換ボタンを押してください。

本体の入力切換ボタン

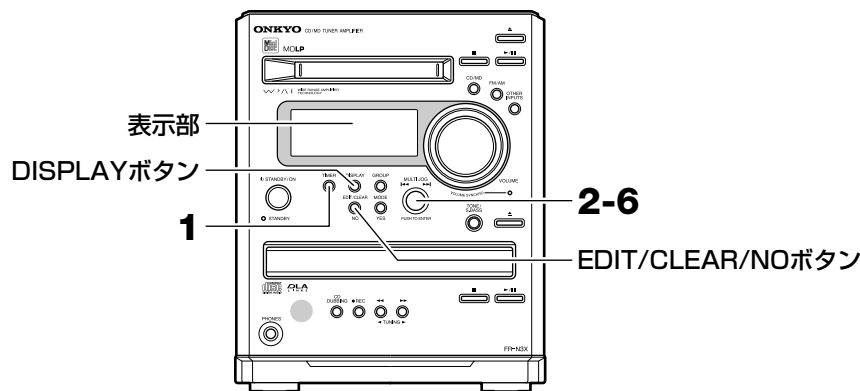
CD/MD	押すごとに、CDとMDが切り換わります。
FM/AM	押すごとに、AMとFMが切り換わります。
OTHER INPUTS	押すごとにCD-R、LINEが切り換わります。

リモコンの入力切換ボタン

リモコンでは以下のボタンを押して入力を切り換えることができます。

CD/MD、FM/AM、OTHER INPUTS

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間表示と24時間表示が選べます。(本書では12時間表示の設定方法で説明しています。)

1

TIMERボタンを(くり返し) 押して、「Clock」を表示する

Clock

2

MULTI JOG ダイヤルを押す

曜日入力に入ります。

3

MULTI JOG ダイヤルを回して今日の曜日を選ぶ

THU 12:00am

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

MULTI JOGダイヤルを押して、曜日を確定する

THU 12:00am

時間入力に入ります。

5

MULTI JOGダイヤルを回して、時刻をあわせる

12時間表示

THU 7:03pm

6

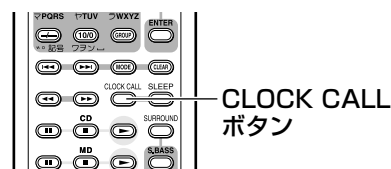
時報に合わせて MULTI JOG ダイヤルを押す

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

EDIT/CLEAR/NOボタンを押す。

◆時刻、曜日を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

◆12時間表示/24時間表示を切り換えるには

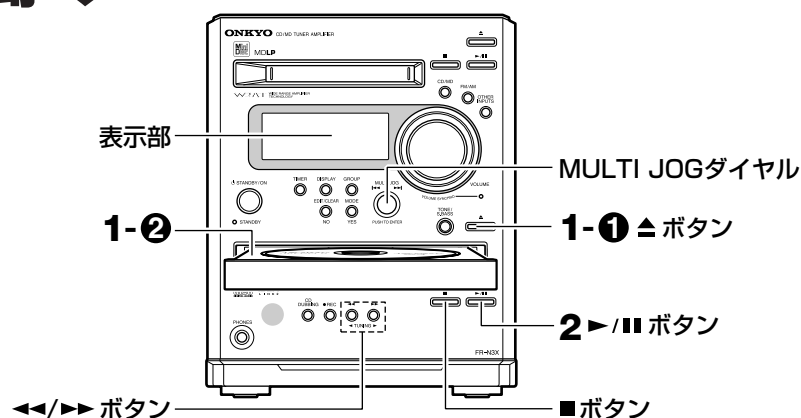
時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

◆STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

ご注意

スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定した場合は、「なし」のときより待機電力が増えます。

CD を聞く

1 （CD 側）

CD をセットする

❶ CDの⏏（オープン/クローズ）ボタンを押して、トレイを開く

❷ CD をトレイに置く

レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。

シングル CD のときは、内側のくぼみの中に置きます。

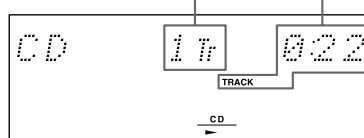
！ヒント

スタンバイ状態のときにCDの⏏（オープン/クローズ）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 （CD 側）

CD の ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

トレイが閉まって再生が始まります。

再生を止める

CDの■（ストップ）ボタンを押します。

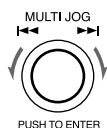
一時停止する

CDの►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

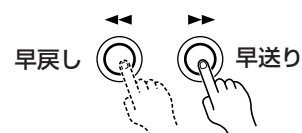
CDを取り出す

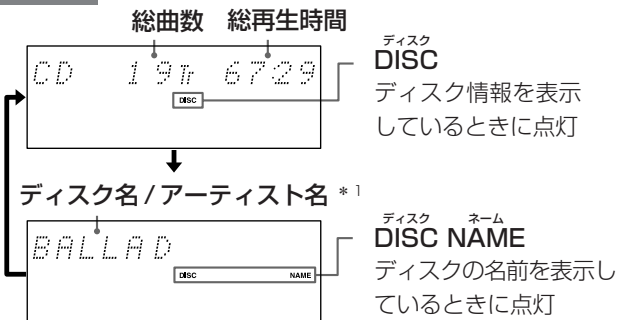
CDの⏏（オープン/クローズ）ボタンを押してトレイを開けます。

◆聞きたい曲を選ぶ

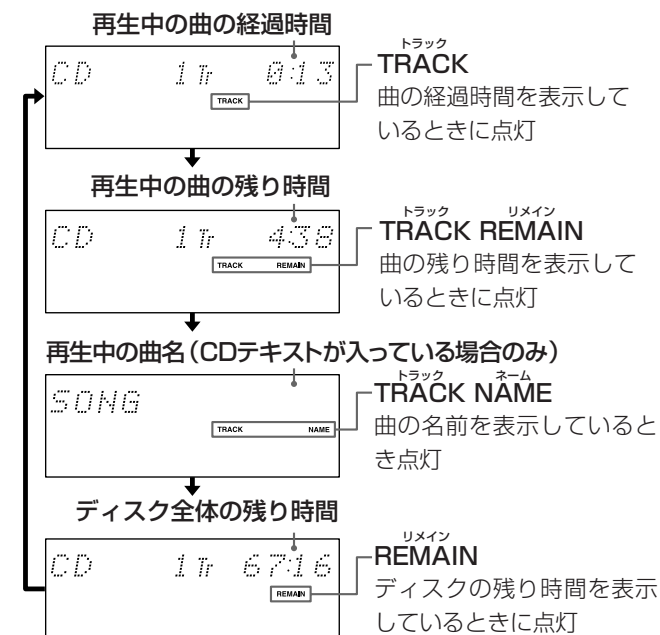
● 再生中/停止中にMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。
右に回すと1曲ずつ次へ進みます。

● 停止中はMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。

◆早戻し / 早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

◆表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

CDテキストについて

リモコンのSCROLLボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

*1 CDにCD TEXTが入っている場合は、名前を表示します。（英数字、記号のみ）
CD TEXTがないときは、「No Name」が表示され、ディスク情報表示に戻ります。

◆リモコンで操作する

CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

--/--- は入力する位の指定、10/0は10もしくは0を表します。

例）　曲番　押すボタン

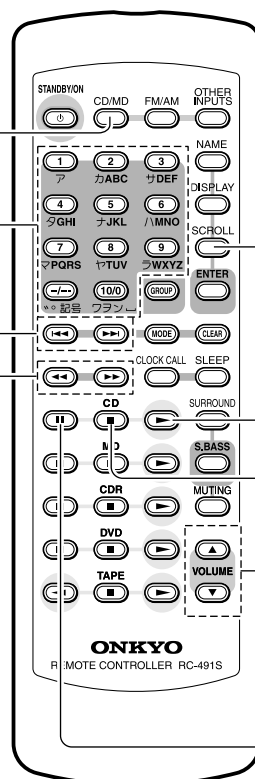
曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	--/---、3、4

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。

※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

長いCDテキストをスクロール表示する（CDテキストがある時のみ）

再生する

スタンバイ状態でＣＤがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

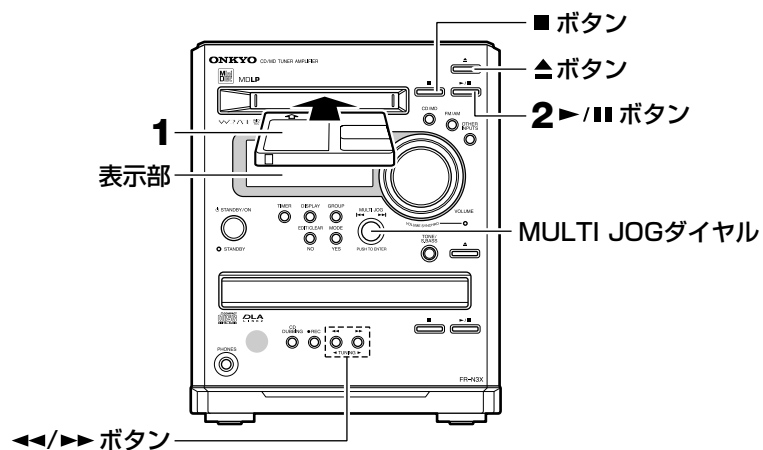
再生を止める

音量を調節する

VOLUME ▲ボタンを押すと音が大きく、VOLUME ▼ボタンを押すと小さくなります。

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じ❚❚ボタンまたは、ＣＤの▶ボタンを押します。

MD を聞く

操作の前に
電源を入れてください。

1

MD をセットする

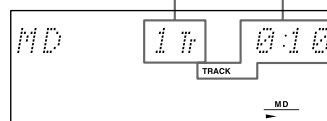
再生専用か、録音済みのMDを選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。

2

（MD 側）

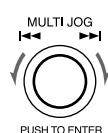
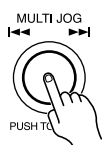
MD の ▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

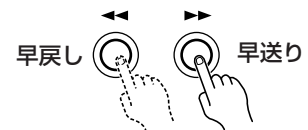
再生が始まります。

再生を止める
MDの■（ストップ）ボタンを押します。

一時停止する
MDの►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。
表示部に❚❚表示が点灯します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

MDを取り出す
MDの▲（イジェクト）ボタンを押します。

◆聞きたい曲を選ぶ

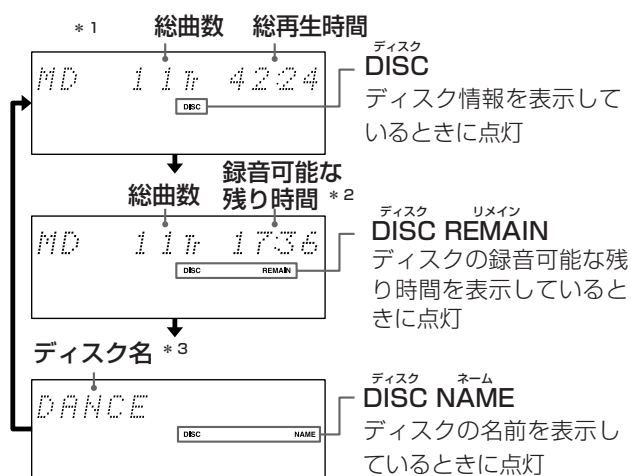
- 再生中/停止中にMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。
右に回すと1曲ずつ次へ進みます。

- 停止中はMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。

◆早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

お知らせ

一時停止中の早戻し/早送りは音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

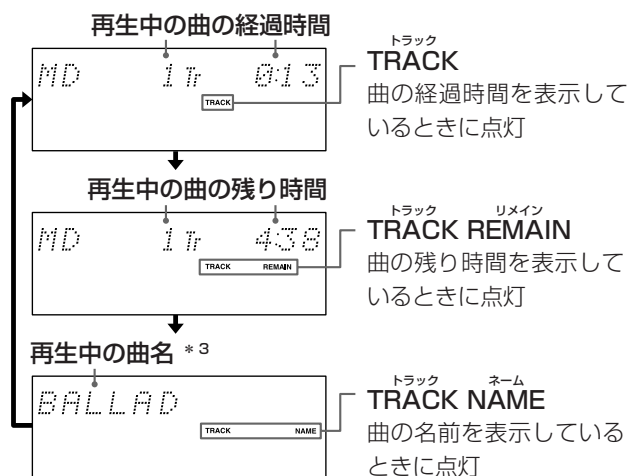
◆表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

再生中、一時停止中

＊1 なにも録音されていないMDのときは、「MD BlankDisc」が表示されます。

＊2 再生専用ディスクのときは表示しません。

＊3 ディスクや曲に名前がついていないときは総曲数または曲番のみが表示されます。
☞「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」(54ページ)

ディスク名、曲名が長いときは

リモコンのSCROLLボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

◆リモコンで操作する

MDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

--/--- は入力する位の指定、10/0 は10もしくは0を表します。

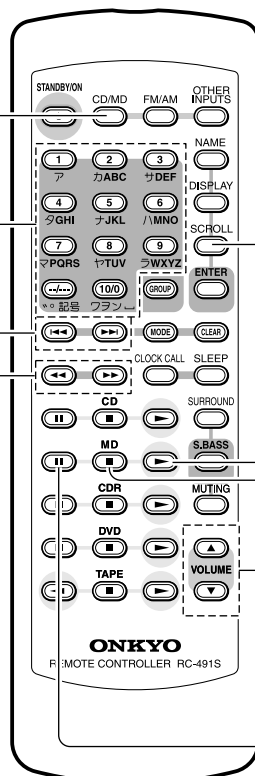
例） 曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	--/---、3、4
103	--/---、--/---、1、0、3

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。

※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し／早送りをする

再生中／一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

長いディスク名/曲名をスクロール表示する

再生する

スタンバイ状態でMDがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

再生を止める

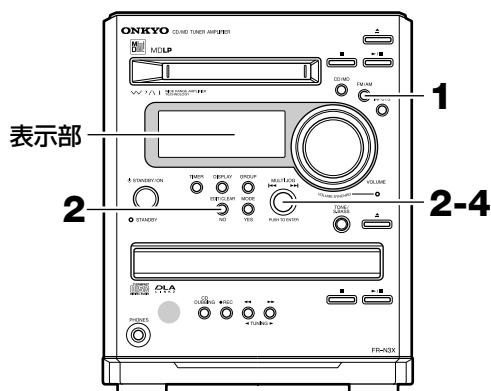
音量を調節する

VOLUME▲ボタンを押すと音が大きく、VOLUME▼ボタンを押すと小さくなります。

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じ❚❚ボタンまたは、MDの►ボタンを押します。

FM局を自動で登録する－オートプリセット

登録すれば放送局を周波数で合わせなくてもチャンネル選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。AM局はオートプリセットできませんので、次ページをご覧ください。

予備知識

- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの間で行います。
- 既にFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞29ページ）

1

FM/AMボタンを（くり返し）押して、「FM」を表示する

FM

2

EDIT/CLEAR
NO
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「AutoPreset?」を表示する

3

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

MULTI JOGダイヤルを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときはEDIT/CLEAR/NOボタンを押してください。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に最大20局まで登録していきます。

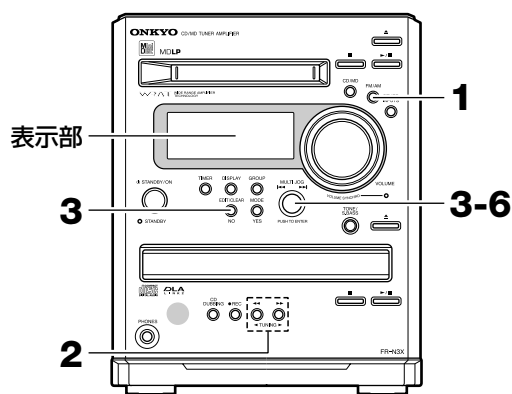
ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなプリセットチャンネルは削除してください。（☞53ページ）

◆プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞54ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞53ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞52ページ

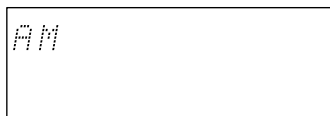
AM、FM局を1局ずつ登録する−プリセットライト

AM局は周波数をマニュアルで合わせて、1局ずつプリセットチャンネルに登録します。
（FM局もオートプリセットの他に、この方法で登録することもできます。）

予備知識

- プリセットは、FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- プリセットライトの場合は、任意のチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

操作の前に

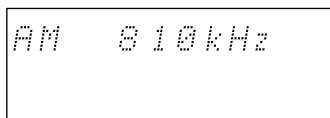
電源を入れてください。

1 FM/AMボタンを（くり返し）押して、「AM」を表示する

FM局を登録するときは「FM」を表示します。

2 TUNING◄/► ボタンを押して、受信したい放送局の周波数を表示する

または

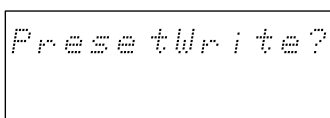
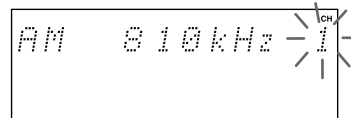
◄ TUNING

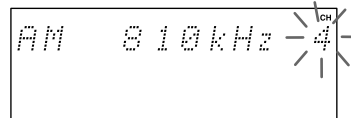
AM　810kHz

ボタンを押し続けると連続して周波数が変わります。

3 EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Preset Write?」を表示する

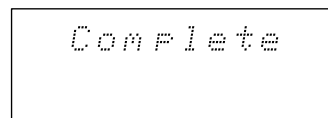
PresetWrite?

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

AM　810kHz　CH 1

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

5 別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOGダイヤルを回す

6 MULTI JOG ダイヤルを押して決定する

- 「Complete」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

➥ 次ページへ続く

AM、FM局を1局ずつ登録する－プリセットライト（つづき）

MODE
YES
EDIT/CLEAR
NO

● 「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは

Overwrite? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。

○ すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、MODE/YESボタンを押します。

○ 登録をやめるときは、EDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

● 「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞ 53ページ）、再度登録してください。

7 **次を登録するときは、手順2～6をくり返す**

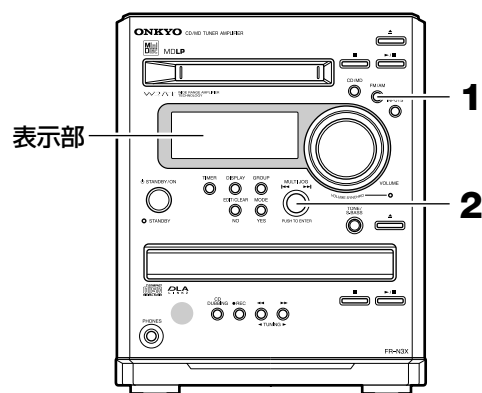
◆ プリセットしたあとにこんなこともできます

● 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞ 54ページ

● 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞ 53ページ

● 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞ 52ページ

FM/AM 放送を聞く

あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。（☞ 26、27ページ）

操作の前に
電源を入れてください。

1

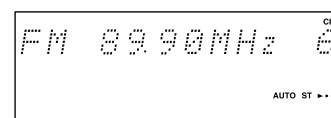
入力を FM または AM にする

FM/AMボタンを押すたびに、FMとAMが交互に切り換わります。

2

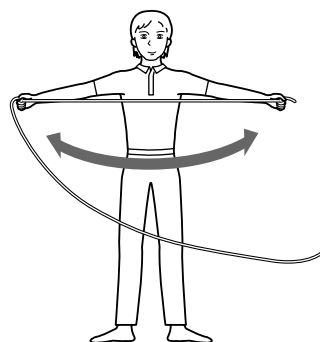
MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

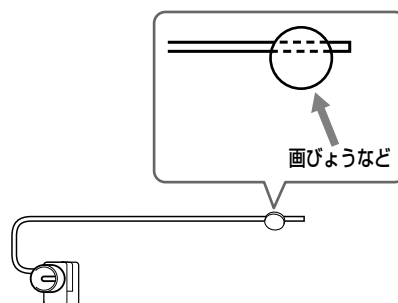
左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

FM 89.90MHz 6
CH
AUTO ST

◆アンテナの調整をする

FMアンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

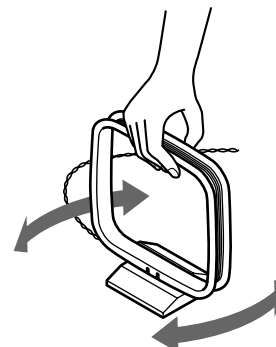
❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

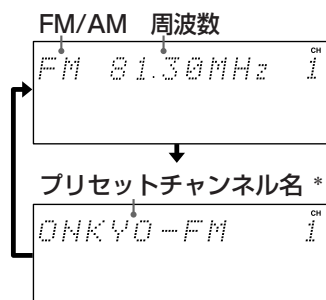
ご注意

画びょうでを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

AMアンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

FM/AM放送を聞く（つづき）

◆表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

* プリセットチャンネルに名前がついていないときは、「No Name（ノーネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（54ページ）

◆リモコンで操作する

数字ボタン

プリセットチャンネルを選ぶ

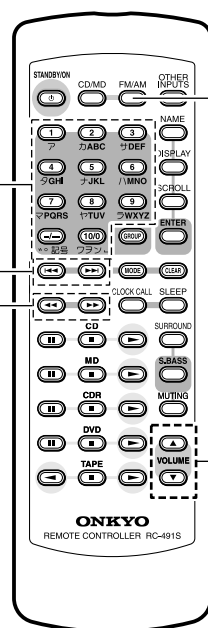
例）

プリセット番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	--/---、2、2

プリセットチャンネルを選ぶ

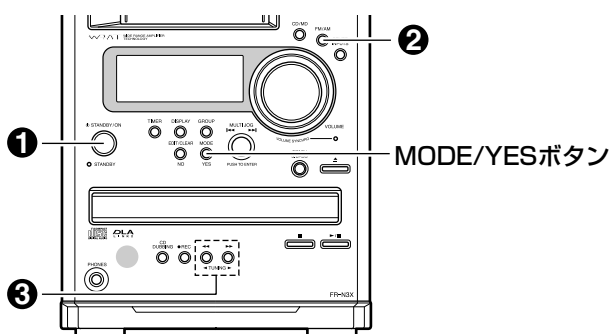
⏮ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

マニュアルで周波数を合わせる

下記参照。

FM AMを選ぶ

音量を調節する

VOLUME（ボリューム）▲ボタンを押すと音が大きく、VOLUME（ボリューム）▼ボタンを押すと小さくなります。

◆マニュアルで周波数を合わせるときは

❶ 電源を入れる

❷ 入力を FM か AM にする

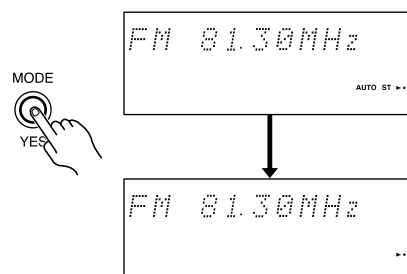
❸ TUNING（チューニング）◀／▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。1秒以上押すと周波数が連続して変化します。FMの場合は◀または▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動で停止します。

FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所ではMODE（モード）/YES（イエス）ボタンを押し、AUTO（オート）の表示を消してモノラル受信にしてください。

雑音や音切れを軽減できます。

AUTO（オート）にもどすときは、同じボタンを再度押します。

録音方法の種類

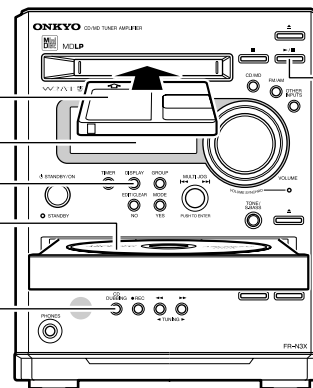
CDダビング	CD DUBBING(ダビング)ボタンを使って本機CDからMDに録音する • デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。 • MDに曲番は自動でつきます。 • DLAリンク…自動で最適な録音レベルに調整します。
倍速ダビング	上記のCDダビングを約半分の時間で行います。

シンクロ録音	オンキヨー製外部機器からMDに録音する • レベルシンク…(入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能)のオン/オフが可能です。 • 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

シグナル シンクロ録音	その他の外部機器からMDに録音する • レベルシンク…(入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能)のオン/オフが可能です。 • 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

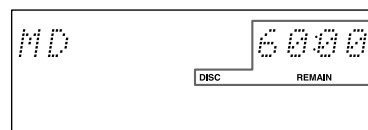
こんな録音はどうするの？		この機能を使うと便利です
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	➡	CDダビング 32ページ （倍速ダビングもできます） 33ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定CDダビング 34ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする 34ページ メモリー再生機能と組み合わせて録音します
たくさんのシングルCDをMDに録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする 34ページ 1TR再生機能と組み合わせて録音します （倍速ダビングもできます）
短時間で録音をすませたい	➡	CD倍速ダビング 33ページ
グループを作りながら録音をしたい	➡	MDグループダビング 35ページ
FM/AM放送を録音したい	➡	FM/AM放送をMDに録音する 36ページ
オンキヨー製カセツトテープデッキやCDレコーダーからMDに録音したい	➡	シンクロ録音 37ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	➡	シグナルシンクロ録音 38ページ
MDLPを使ってたくさんの曲を1枚のMDに入れたい	➡	録音モードを切り換える 39ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する 40ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える 41ページ
MDの最後をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング 35ページ
CDからMDにアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 40ページ シンクロ録音をする 37ページ

CDをMDに録音する（CDダビング）

● DLA LINKが働くワンタッチ録音です。
● 曲番は自動でつきます。

1

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

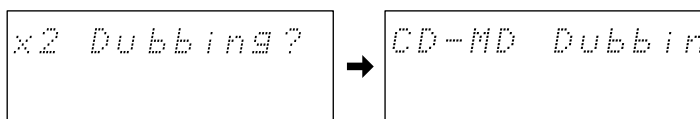
入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

録音可能時間
（DISC REMAINが点灯）

ご注意

CDがRANDOM再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

2

CD DUBBINGボタンを押す

➡

"X2 Dubbing?"が3秒表示されます。

"CD-MD Dubbing"がスクロールします。

CDはピークサーチ（最大レベルの検出）を高速で行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。（DLA LINK）その後、録音を開始します。

●CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの►ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

！ヒント

DLA LINKは最長で90秒かかることがあります。

CDダビング中のご注意

►/❚❚、▲などのボタンは働きません。

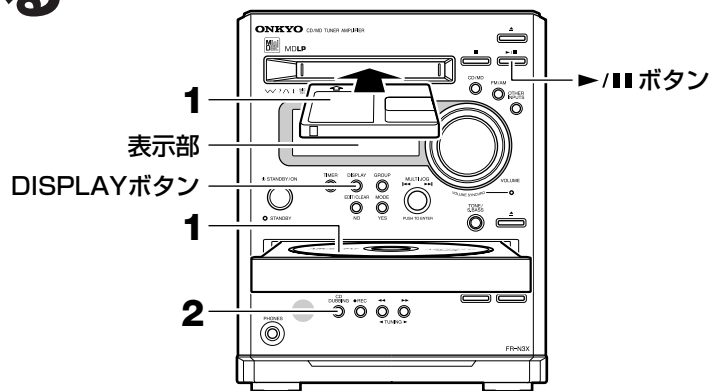
●CDダビング中、本機に接続した外部機器の音声をお楽しみいただけます。

ご注意

表示部にはMDに録音中（CD）のレベルメーターが表示されます。
本機のDIGITAL OUT端子からはCDの音が出ています。

CDをMDに録音する（CD倍速ダビング）

● DLA LINKが働くデジタル録音です。
　通常の約半分の時間で行います。
● 曲番は自動でつきます。

1

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

ご注意

● CDがREPEAT再生、MEMORY再生、RANDOM再生モードになっているときは、CD倍速ダビングはできません。
● CD倍速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

2

CD DUBBINGボタンを2回押す

CD DUBBINGボタンは続けて3秒以内に押してください。

CD-MD×2 Dubbing　がスクロールします

CDはピークサーチ（最大レベルの検出）を高速で行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。（DLA LINK）その後、録音を開始します。
●CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると録音が止まります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

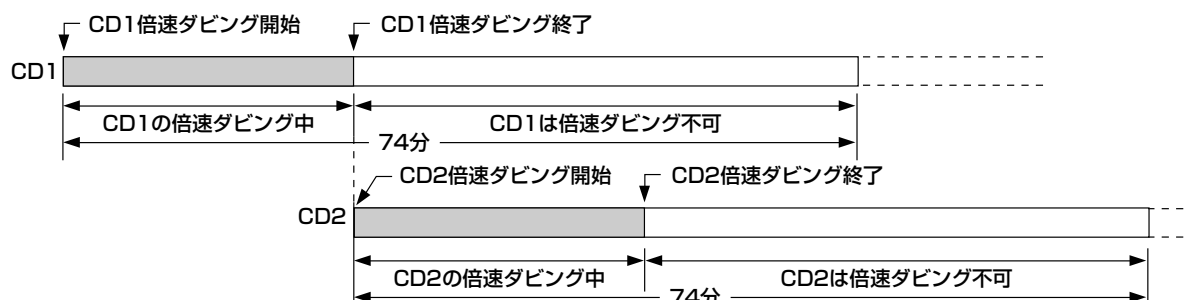
！ヒント

DLA LINKは最長で90秒かかることがあります。

CDダビング中のご注意

►/❚❚、▲などのボタンは働きません。

◆CD倍速ダビングの制限について

CD倍速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD倍速ダビングをすることができません。CD倍速ダビングをしようとすると“Time Protect”と表示され、そのCDがCD倍速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例：“Wait 42 min”）他のCDを使用する場合は、続けて録音することができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

◆CDテキストを自動でコピーする

● CDにCDテキストが入っていると（☞8ページ）、CDダビング時にCDの曲名がMDの曲名としてコピーされます。

● 何も録音されておらず、ディスクネームもついていないMDへのダビング時は曲だけでなくCDのディスク名、アーティスト名がMDのディスクネームとしてコピーされます。

● 多くのCDテキストには著作権があります。著作権がある場合、CD DUBBINGボタンを押すと、「Text protect」と表示され、「Text Copy?」と表示されます。

「Text Copy?」と表示されたとき

CD DUBBINGボタンを押すと、CDテキストもMDにコピーするCDダビングを行います。
CD DUBBINGボタンを押さずにいると、CDテキストをコピーしないでCDダビングを開始します。

ご注意

MD規格の制限のため、CDテキストの文字種類によっては空白に変換されることがあります。

◆今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶ CDとMDをセットし、CDの▶/❚❚ボタンを押して再生を始める

❷ CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBINGボタンを押す

高速でピークサーチを行い、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

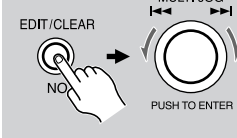
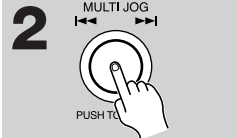
CD倍速ダビングはできません。

◆好きな曲だけをダビングする

❶ CDとMDをセットし、入力をCDにしたあといろいろな再生の設定をする

MEMORY再生（43ページ）、1 TR（1曲）再生（44ページ）、REPEAT再生（45ページ）の設定をします。（設定と選曲のみで、再生はしません。）

❷ CD DUBBINGボタンを押す

高速でピークサーチを行い、その後録音が始まります。

ご注意

● MEM、REPEAT表示が点灯しているときは、倍速ダビングができません。
● 1TR再生と組み合わせるときは、選曲してもCDの1曲目のみのダビングになります。
● CDを1曲だけREPEAT再生モードで録音すると曲番がつかない場合があります。

X-N3X(P31-42)(SN29343348A) 34 02.11.18, 2:08 PM

◆フェードアウトダビング　入力がMDで停止中

CDダビング、トラック指定CDダビング、倍速ダビング時、最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。

1 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Fade Dub?」を表示させる

EDIT/CLEAR　NO　MULTI JOG　PUSH TO ENTER

2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off ➡ On

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

3 MULTI JOGダイヤルを押して確定する

●この設定を途中で止めたいときは、EDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

◆MDグループダビング　録音を開始する前に設定します　入力がMDで停止中

曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。

1 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Group Dub?」を表示する

EDIT/CLEAR　NO　MULTI JOG　PUSH TO ENTER

2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

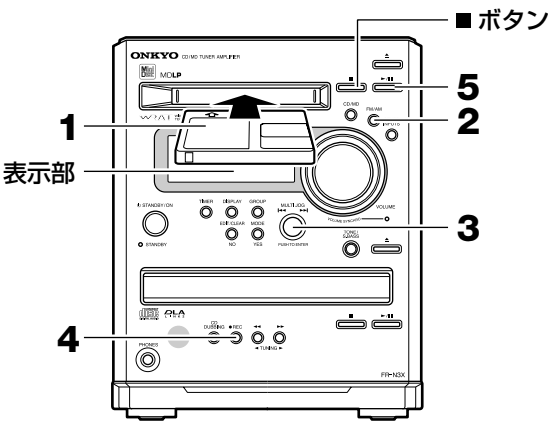
「Off→On？」または「On→Off？」が表示されます。

3 MULTI JOGダイヤルを押す

Gr.Dub On

MDグループ機能については、46ページをご覧ください。

FM/AM 放送を MD に録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞ 39ページ）を切り換えて使うと便利です。

1

MD をセットする

2

入力を、「FM」または「AM」にする

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ

4

●REC

● REC（レック） ボタンを押して、録音待機状態にする

録音レベルを調節するときは

☞40ページ

レベルシンクのオン、オフをするときは

☞「曲番をつける－レベルシンク」（41ページ）

5

（MD 側）

MD の ►/II（プレイ/ポーズ） ボタンを押して、録音を始める

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。
途中で止めるときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/II（プレイ/ポーズ）ボタンまたはリモコンのMDの►（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止するには

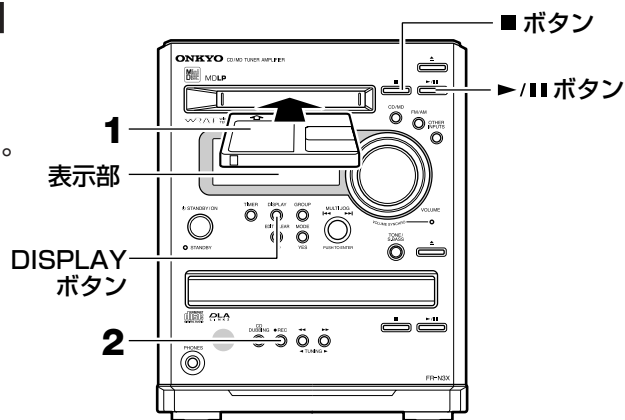
MDの►/II（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで● REC（レック） ボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約４秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

オンキヨー製品から録音する（シンクロ録音）

● CDの選曲をしながら編集録音するときに便利です。
● オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。
別売のオンキヨー製カセットテープデッキを本機に接続すると、以下のような操作ができます。
- ●CDからカセットテープへのシンクロ録音
- ●MDからカセットテープへのシンクロ録音
- ●カセットテープからMDへのシンクロ録音

CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。

ここではカセットテープデッキから本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

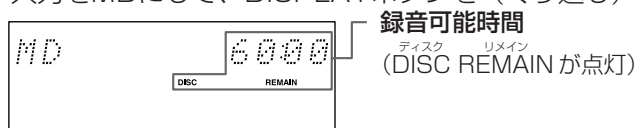
1

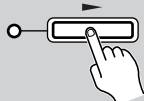
録音するソース（接続したカセットテープ）とMDをセットする

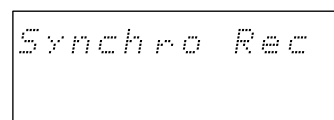
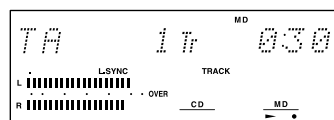
MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

録音可能時間
（DISC（ディスク） REMAIN（リメイン）が点灯）

2

● REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする

3（カセットテープデッキ側）

録音するソース（接続したカセットテープ）を再生する

Synchro Rec

録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープ）を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンまたはリモコンのMDの►（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

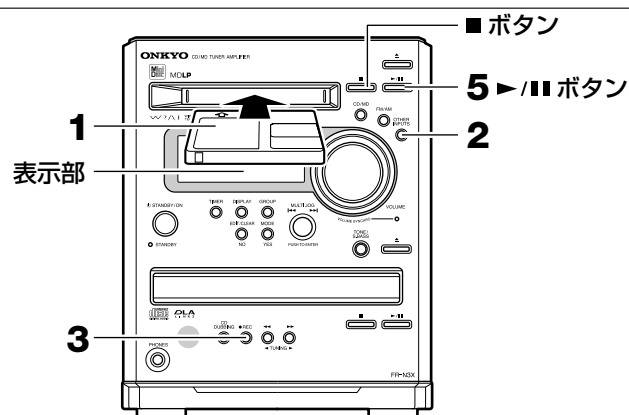
一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。ただし、MDの■（ストップ）ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたところで●REC（レック）ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

外部機器をMDに録音する

本機と接続した外部機器をMDに録音します。

1	MDをセットする
2 OTHER INPUTS	**OTHER INPUTSボタンを(くり返し)押して、録音する外部機器を選ぶ** CD-R ↔ LINE `LINE` ！ヒント 名称を変えると、その名称が表示されます。(☞68ページ)
3 ● REC	**● REC ボタンを押して、録音待機状態にする**
4	外部機器の再生を始める
5（MD 側） ►/❚❚ 	**MDの►/❚❚ボタンを押して、録音を始める** `LI 1Tr 0:28` MDの最後まで録音すると自動的に停止します。 途中で止めるときは、MDの■ボタンを押します。

◆シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶ **左項の手順1〜3を行う**

通常の録音待機状態になっています。

❷ **●RECボタンを押す**

`Signal Rec`

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。

❸ **外部機器の再生を始める**

外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。
(☞ 左項の手順 **5**を行う必要はありません。)

録音レベルを調節するときは

☞40ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞41ページの同項目。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い(4秒以下)と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

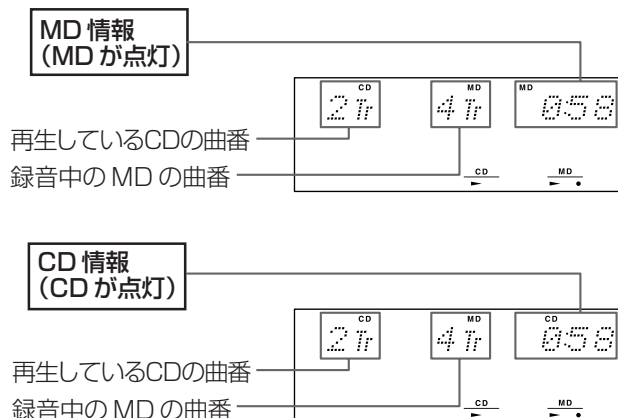
MDの►/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの►ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

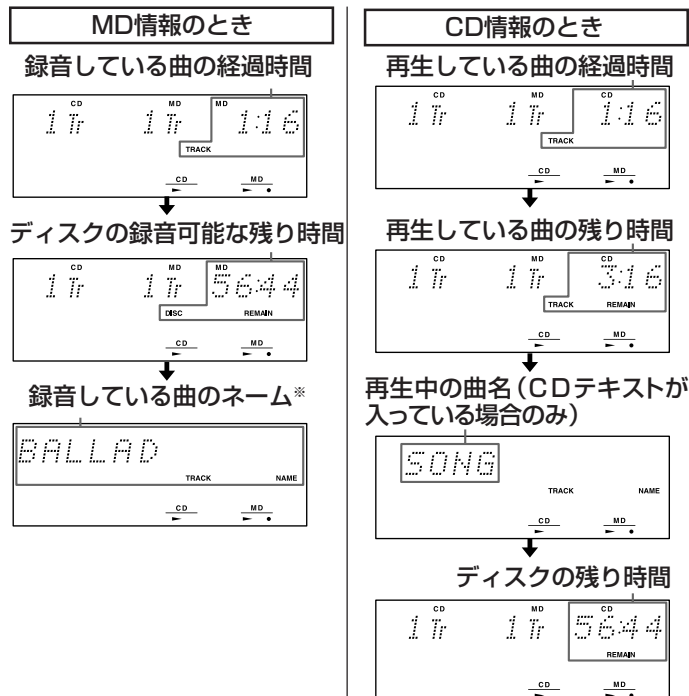
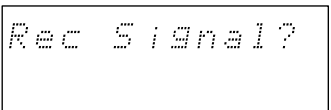
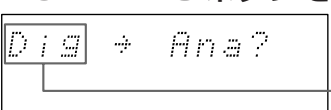
録音の設定

◆録音中に表示を切り換える　CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。

●CD/MDボタンを押すと、CDとMDの表示切り換えができます。

※　名前がついていないときは表示されません。
☞「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（54ページ）

●CD/MD表示切り換え後、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、以下のように切り換わります。

MD情報のとき

CD情報のとき

◆録音モードを切り換える　録音を開始する前に設定します。　入力がMDで停止中

1

EDIT（エディット）/CLEAR（クリアー）/NO（ノー） ボタンを押す

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して、「Rec（レック） Mode（モード）?」を選ぶ

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを押す

4

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回すと、以下の順で切り換わります

SP　：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。

LP2　：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

LP4　：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。

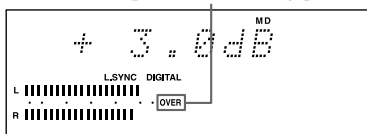
MONO（モノ）：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

ご注意
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

5

希望の録音モードのときに、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを押す

録音の設定（つづき）

◆CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ　入力がCDで停止中

CDからMDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。

1 **EDIT**/CLEAR/NOボタンを押し、「Rec Signal?」を表示させる

Rec Signal?

2 MODE/**YES** ボタンを押す

Dig → Ana?

現在の録音入力設定

！ヒント

CD表示のときに“DIGITAL”が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

CD

DIGITAL点灯時は、デジタル入力録音

3 **現在の設定を変更しない場合は EDIT/CLEAR/NO ボタンを押す**
変更する場合は MODE/YES ボタンを押す

「Dig→Ana?」と表示されたとき、MODE/YESボタンを押すとアナログ入力録音となり、「Ana→Dig?」と表示されたとき、MODE/YESボタンを押すとデジタル入力録音となります。
「Complete」と表示され、設定が完了します。
CDを取り出すか、またはCD DUBBINGボタンを押すと設定がデジタルに戻ります。

◆録音レベルを調整する　録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。

シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。DLA LINKが働くCDダビング、倍速CDダビング時には調整できません。録音するソースを再生した後、●RECボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。
アナログ、デジタルそれぞれで調整することができます。

1 **EDIT**/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Level?」（録音レベル）を表示させる

2 MULTI JOGダイヤルを押す

3 MULTI JOG ダイヤルを回して録音レベル（Rec Level）を調節する

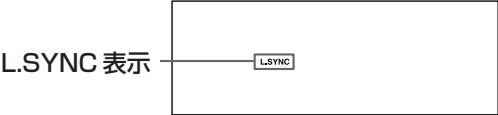
OVERが点灯しないように調整する。

調節できる範囲は－∞dBから＋18.0dBです。
－12.5dBから＋18.0dBの範囲では0.5dB間隔で、－12.5dBから－30.0dBは2.5dB間隔、－30dBから－60dBは5.0dB間隔で調整できます。

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、調整が完了します。

◆曲番をつける－レベルシンクを切り換える　入力がMDで停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短かすぎるとつかないことがあります。）
- CD ダビング、トラック指定 CD ダビング、倍速ダビングのときは、レベルシンクのオン / オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所で● REC ボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が 60 秒以上続いた場合、自動的に録音待機状態になります。
- L.SYNC 表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにすると L.SYNC 表示は消えます。）

1

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Level Sync?」を表示する

Level Sync?
L.SYNC

2

MULTI JOGダイヤルを押す

On → Off
L.SYNC

「On→Off?」、または「Off→On?」が表示されます。

3

MULTI JOGダイヤルを押す

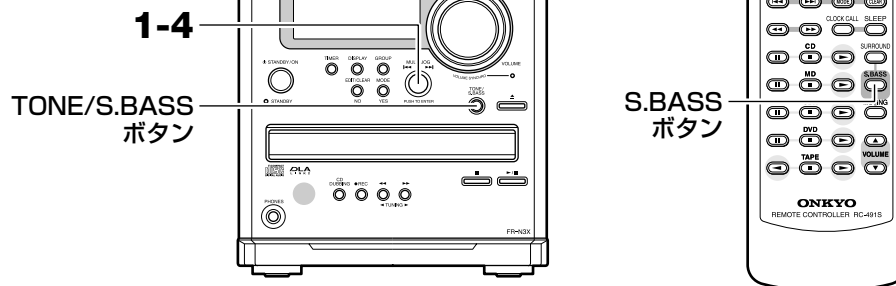
Level SyncOff

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。
●この設定を途中で止めたいときは、EDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

音質を調整する

UXW-3.1と組み合わせて使用しているときは、調整できません。

◆音質を調整する

1

TONE/S.BASSボタンを押し、「Bass ±0」(低音域調整)を表示させ、MULTI JOGダイヤルを回して7段階の低音を調整する

Bass +10

2

MULTI JOGダイヤルを押し、「Treble ±0」(高音域調整)を表示させ、MULTI JOGダイヤルを回して7段階の高音を調整する

Treble +3

3

MULTI JOGダイヤルを押し、S.BASS(重低音域調整)を表示させ、MULTI JOGダイヤルを回して「On」または「Off」を選ぶ

S.Bass On

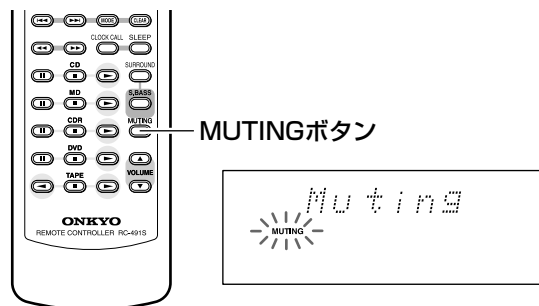
4

MULTI JOGダイヤルを押す

通常表示に戻ります。

！ヒント

目的の音質調整が終わった後、EDIT/CLEAR/NOボタンを押すと、通常表示に戻ります。
リモコンのS.BASSボタンを押すと重低音を切り換えることができます。

◆音量を一時的に小さくする ーミューティング（リモコンのみの機能です）

MUTINGボタンを押すとMUTING表示が点滅し、音量がごく小さくなります。
もう一度押すと、解除されます。

以下のときも解除されます。
- リモコンのVOLUME ▲/▼ボタンを押したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

CD/MD のいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。
CDダビング機能と組み合せて使用することができます。

◆MEMORY再生

●曲を指定し（CD、MDそれぞれ25曲まで）、その順序で再生します。
●CDダビング機能と組み合せてお好みのMDを簡単に作成できます。（CD倍速ダビングはできません。）

リモコンで操作する

入力がCD/MDで停止中

1

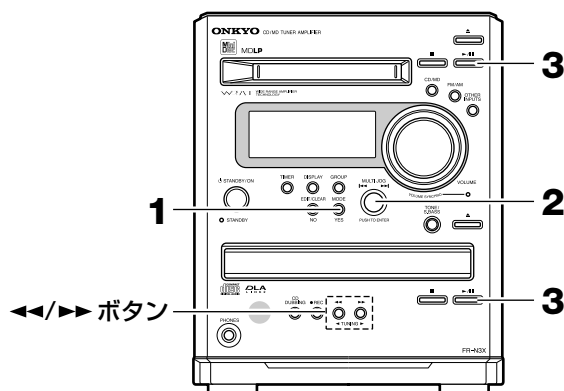
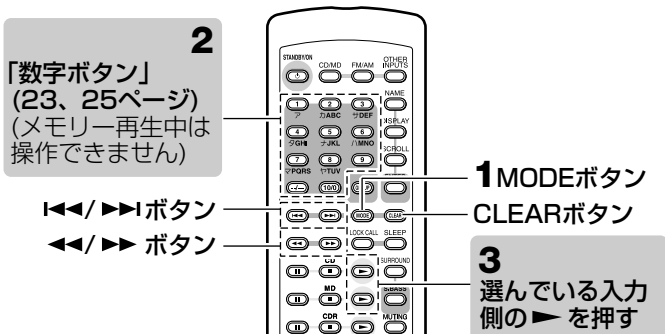
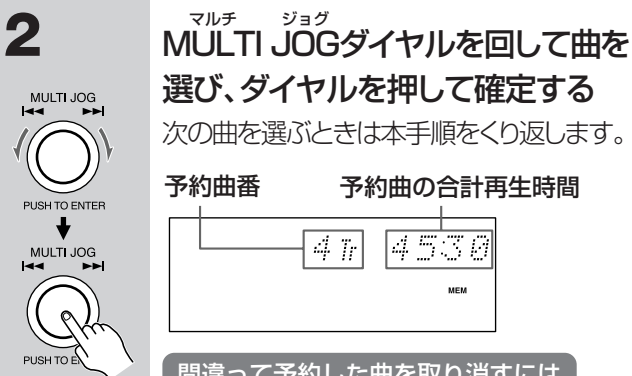
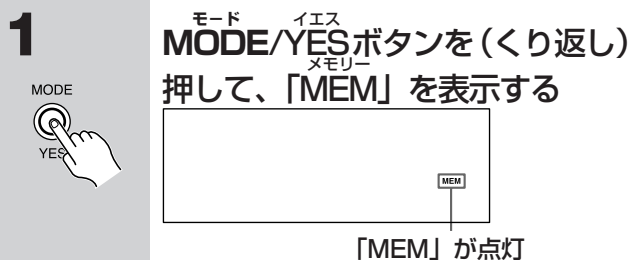
MODE/YESボタンを（くり返し）押して、「MEM」を表示する

「MEM」が点灯

2

MULTI JOGダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/CLEAR/NOボタンを(くり返し)押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

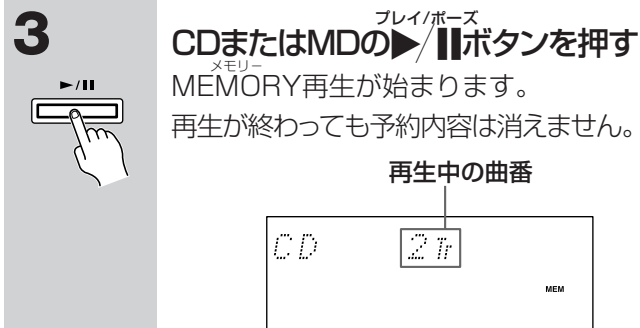
お知らせ

予約時間の合計が以下の時間を超えると合計時間表示が不可能になりますが、MEMORY再生に支障はありません。
CD：99分59秒を超えると「--:--」となります。
MD：511分59秒を超えると「---:--」となります。
CD、MDそれぞれ26曲以上は予約できません。「Memory Full」と表示されます。

3

CDまたはMDの▶/IIボタンを押す

MEMORY再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲する

再生中にMULTI JOGダイヤルを回すか、リモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

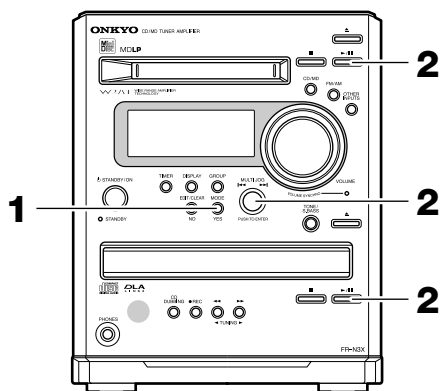
停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- MEMORY再生モードの停止中に、EDIT/CLEAR/NOボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。
- ディスクを取り出すと、記憶した内容は消えます。

CD/MD のいろいろな再生（つづき）

◆1TR（1曲）再生

●1曲のみを選んで再生します。
●CDダビング機能と組み合わせると、シングルCDの1曲目だけの録音が簡単にできます。

入力がCD/MDで停止中

1 MODE/YESボタンを（くり返し）押して、「1TR」を表示する

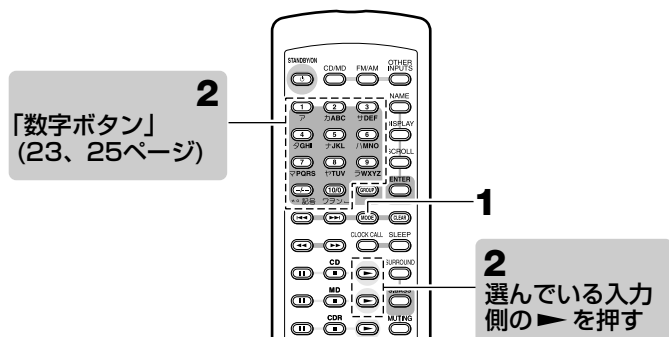
「1TR」が点灯

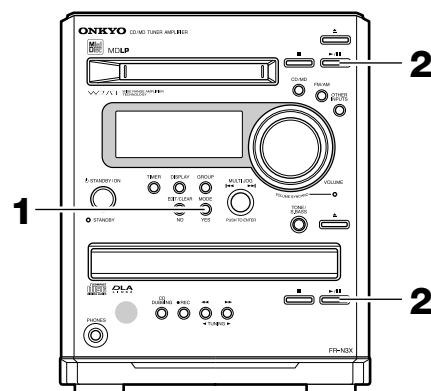
2 CDまたはMDの►/❚❚ボタンを押す

1TR（1曲）再生が始まります。

1曲目以外の曲を選ぶときは

MULTI JOGダイヤルを回して曲を選ぶ
●CDダビング機能と組み合わせるときは、1曲目のみとなります。

リモコンで操作する

◆RANDOM再生

●曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

入力がCD/MDで停止中

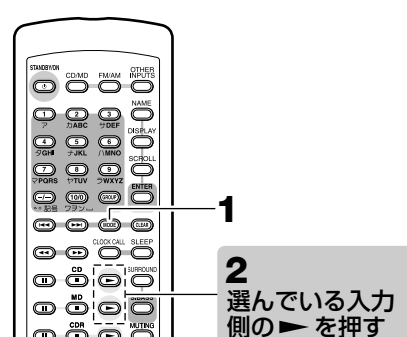
1 MODE/YESボタンを（くり返し）押して、「RDM」を表示する

「RDM」が点灯

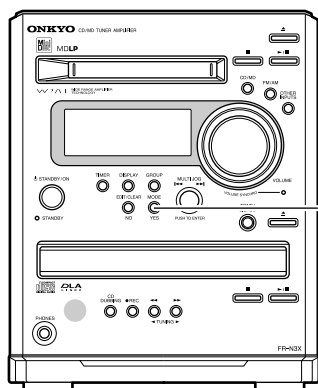
2 CDまたはMDの►/❚❚ボタンを押す

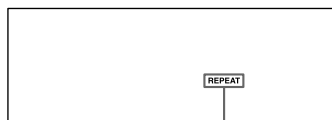
RANDOM再生が始まります。

再生中の曲番

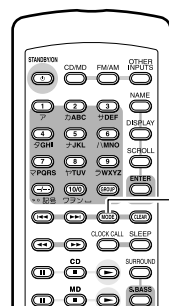
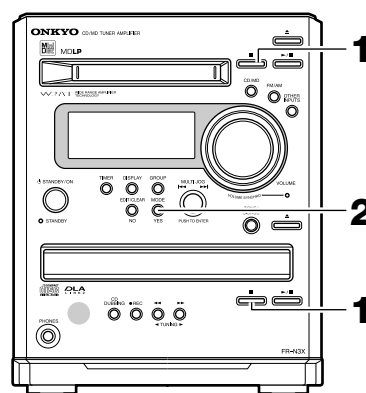
リモコンで操作する

◆REPEAT/CHAIN REPEAT再生

● REPEAT再生はCD、MDのどちらかをくり返し再生します。
CHAIN REPEAT 再生はCD、MDを交互にくり返して再生します。

● 1TR(1曲)再生、1GR再生(☞51ページ)、MEMORY再生、RANDOM再生、通常再生と組み合わせて使うことができます。
「CHAIN REPEAT」のときは、CD、MD別々にそれぞれの再生モードと組み合わせられます。

CD/MDが再生中

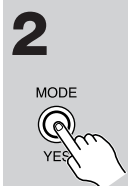
MODE/YESボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」または「CHAIN REPEAT」を点灯させる

「REPEAT」または
「CHAIN REPEAT」が点灯

REPEAT/CHAIN REPEAT再生モードになります。

リモコンで操作する

◆通常再生にもどす

1 TR(1曲)、MEMORY、RANDOM再生を取り消す CD/MDが停止中

1

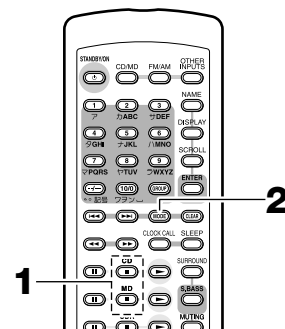
CDまたはMDの■ボタンを押して再生を止める

2

MODE/YESボタンを(くり返し)押して、「1 TR」、「MEM」、「RDM」のいずれも表示されていない状態にする

REPEAT、CHAIN REPEAT再生を取り消す

CD/MDが再生中

MODE/YES ボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」、「CHAIN REPEAT」のどちらも表示されていない状態にする

リモコンで操作する

MDグループ機能

1 TR(ワントラック)、1 GR(ワングループ)、MEM(メモリー)、RDM(ランダム)が点灯していると編集できません。通常再生モードにしてください。

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。
MDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

◆グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲をまとめて新規のグループに入れます。

1

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

MD　1Tr　424

2

EDIT(エディット)/CLEAR(クリア)/NO(ノー)ボタンを押し、MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して「○○Tr Gr. Set?」を表示させる

1Tr　Gr.Set?

3

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを押す

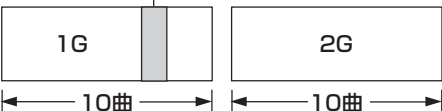
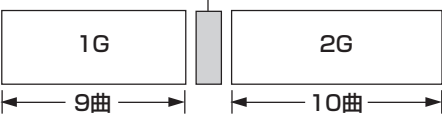
4

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

1Tr−8Tr ?

5

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを押す

「Complete(コンプリート)」が表示され、グループが作成されます。

◆グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲をすでにあるグループに入れます。

1

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2

EDIT(エディット)/CLEAR(クリア)/NO(ノー)ボタンを押し、MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して「○○Tr Gr.In?」を表示させる

14Tr　Gr.In?

3

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを押す

4

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

14Tr→1G?

5

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを押す

「Complete(コンプリート)」が表示され、選んだグループの最後に入ります。

◆グループアウト　入力がMDで停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1

MULTI JOGダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

2

EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○ Tr Gr. Out?」を表示させる

3Tr Gr. Out?

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだ曲がグループから外れます。

◆全グループの解除　入力がMDで停止中

ディスクに入っているすべてのグループを解除します。

1

EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Gr. Release?」を表示させる

Gr. Release?

2

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、すべてのグループが解除されます。

◆選択グループの解除　入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1

GROUP ボタンを押す

2

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

MULTI JOGダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

1G 5Tr 29:19

3

EDIT/CLEAR
NO
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「G Release?」を表示させる

1G Release?

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループのみ解除されます。

MD グループ機能
（MD グループを編集する）

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

◆編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase（グループ イレーズ）

指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move（グループ ムーブ）

グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine（グループ コンバイン）

前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

◆編集/消去の組み合わせ

離れた2つのグループをつなぐ

（G.Move＋G.Combine）

G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集／消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、9ページ）
- MEMまたは、RDM、1TR、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常再生モードにしてください。（☞「通常再生にもどす」、45ページ）

◆指定したグループ内の曲を消す－G.Erase（グループ イレーズ）

入力がMDで停止中

●途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

CD/MD

2 GROUP（グループ）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して消すグループを選ぶ

2G 2Tr 3:16

3 EDIT/CLEAR/NO（エディット/クリア/ノー）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して「Erase?」（イレーズ?）を表示する

2G Erase?

4 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押す

2G Erase??

再確認のため「Erase??」（イレーズ）（本当に消していいですか？）が表示されます。

5 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押す

Complete

グループ内の曲が消され、「Complete」（コンプリート）（完了）が表示されます。

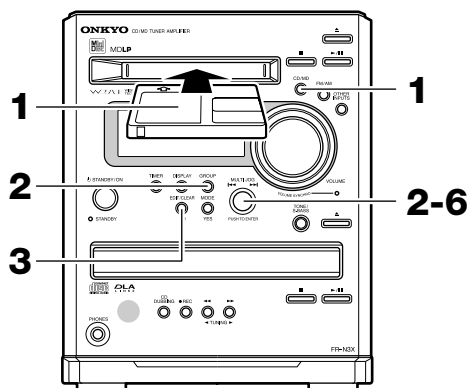
グループ番号は新たにふり直されます。

◆グループを移動する－G.Move

入力がMDで停止中

●途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

CD/MD

2 GROUPボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

2G　2Tr　3:16

3 EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

2G　Move?

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

2G→1G?

このグループ番号になります。

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5 必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

2G→4G?

6 MULTI JOG ダイヤルを押す

Complete

TOC

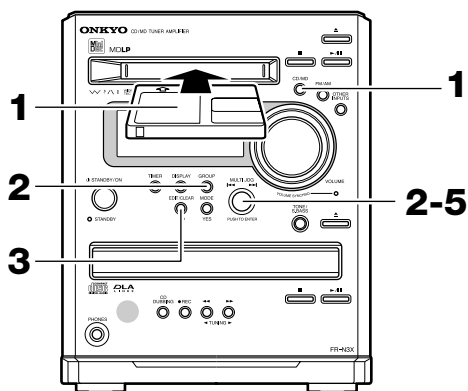
指定した曲が移動し、「Complete」(完了)が表示されます。

グループ番号は新たにふり直されます。

MD グループ機能
（グループを編集する）（つづき）

◆ グループをつなぐ －G.Combine

入力がMDで停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 GROUPボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

```
2G   3Tr   3:16
```

選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

3 EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Combine?」を表示する

```
2G Combine?
```

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

```
1G+2G?
```

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5 MULTI JOG ダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

```
Complete
```

グループがつながり、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループ番号のふり直し

1	2	3	4

MD グループ機能
（MD グループを再生する）

● ディスクにグループを作成しておく必要があります。（☞46ページ）

◆MDグループ再生

選択したグループから最後までを再生します。

1 GROUP ボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、再生したいグループを選ぶ

1G 5Tr 10:10 GROUP

リモコンでは数字ボタンで、グループ番号を選びます。

3 MULTI JOG ダイヤルを押す

再生が始まります。

◆MD1グループ再生

選択したグループのみ再生します。

1 GROUP ボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

1G 5Tr 10:10 GROUP

リモコンでは数字ボタンで、グループ番号を選びます。

3 MODE/YES ボタンをくり返し押して、「1GR」モードを選ぶ

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

再生が始まります。

再生が終わると、ＭＤ１グループ再生モードは解除します。

◆MDグループスキップ

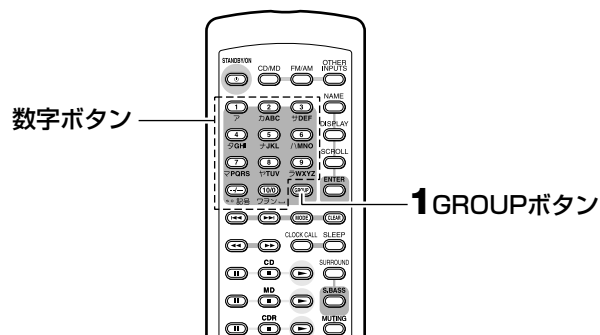
再生中に、グループ毎にスキップをすることができます。

1 再生中に GROUP ボタンを押す

1G 1Tr 0:10

2 MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

リモコンで操作する

FM/AM のプリセットチャンネルを編集する

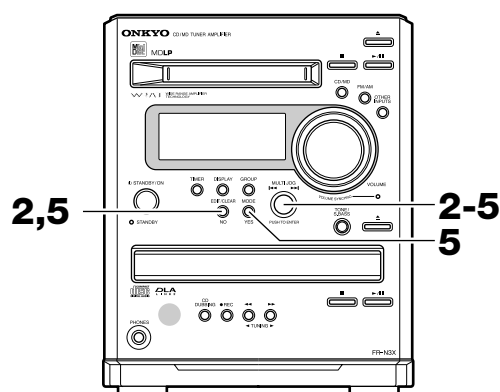
削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

◆ プリセットチャンネル編集のヒント

チャンネル番号を変更する

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで3チャンネルにオートプリセットされた放送局を8チャンネル(空きチャンネル)に変えるときは、
❶ 3チャンネルを8チャンネルにコピーする。
❷ 3チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

◆ プリセットチャンネルをコピーする

プリセットチャンネルをコピーすると、プリセットチャンネルにつけた名前（☞ 54ページ）も同時にコピーされます。

1

FMまたはAMの、コピーするプリセットチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

2

EDIT/CLEAR
NO
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回し「Preset Copy?」を表示する

PresetCopy?

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

4

MULTI JOG ダイヤルを回してコピー先のプリセットチャンネルを選ぶ

5

MULTI JOG ダイヤル押す

● 「Complete」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局が指定のチャンネルにコピーされました。

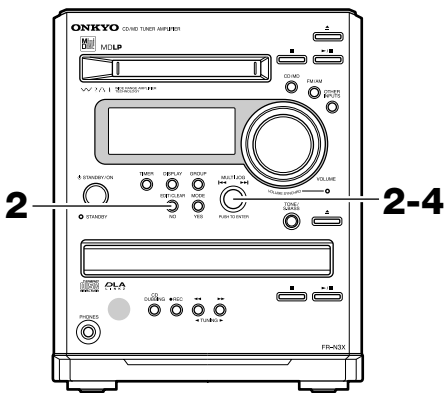
● 「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6

選んだチャンネルは登録済みです。

○ すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MODE/**YES**ボタンを押します。

○ 書き換えをやめるときは、EDIT/CLEAR/**NO**ボタンを押します。

◆プリセットチャンネルを削除する

1

FMまたはAMの、削除するプリセットチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

2

EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット） Erase?（イレーズ?）」を表示する

PresetErase?

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押す

再確認のメッセージが表示されます。

Erase Ok? 4

削除をやめるときは、EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押します。

4

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押す

Complete

プリセットチャンネルが削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

X-N3X(P43-61)(SN29343348A) 53 02.11.18, 2:10 PM

MD、プリセットチャンネルに名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMのプリセットチャンネルにはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。

◆MDにディスク名や曲名をつける

●最大100文字までの名前がつけられます。

❶ MDをセットし、入力をMDにします。

❷ ディスクに名前をつけたいときはそのまま手順❸へ、曲に名前をつけたいときは、曲を選んでください。

❸「文字を入力する」右項を行います。

◆MDのグループに名前をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにします。

❷ GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して名前をつけるグループを選びます。

❸「文字を入力する」右項を行います。

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。（☞ 9ページ）
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MDの■ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。
- MEM、RDM、1TR、1GRの表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。

- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、9ページ）

◆ プリセットチャンネルに名前をつける

FMまたはAMのプリセットチャンネルを選び、「文字を入力する」（右項）を行います。

8文字までの名前がつけられます。

◆本体操作ボタンで文字を入力する

1

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name In?」を表示する

Name In?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

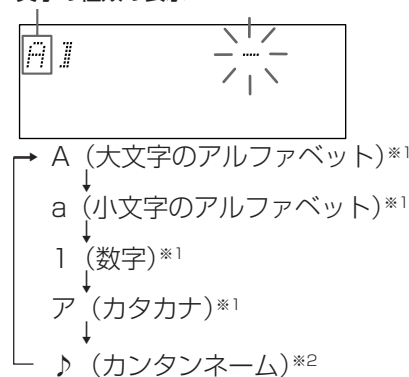
文字入力モードに入ります。

3

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。

文字の種類の表示

→ A（大文字のアルファベット）※1
↓
a（小文字のアルファベット）※1
↓
1（数字）※1
↓
ア（カタカナ）※1
↓
♪（カンタンネーム）※2

※1 ☞「入力できる文字」(次ページ)

※2 プリセットチャンネルのネーム入力時には表示されません。
☞「カンタンネームについて」(次ページ)

4

MULTI JOG ダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順**3**を行います。

5

入力が終わったら、MODE/YESボタンを押す

Complete

「Complete」が表示され、文字入力が完了します。

名前の入力を途中でやめるときはEDIT/CLEAR/NOボタンを2秒以上押します。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
＞＜）（；：＿＄％＆＋－＊／＝？！’ ” ．，␣（空白）Ｍ（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

カンタンネームについて（MDのみ）

以下のようなネームが用意されています。文字を選ぶのと同じ要領で下記の中から選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	[ofの後ろには空白(␣)が1文字分入ります。]	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

◆文字を訂正する/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順**1**と**2**を行ってください。

❶ **本体またはリモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順3、4にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、EDIT/CLEAR/NOボタンまたは、リモコンのCLEARボタンを押す**

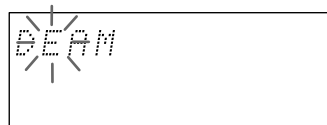
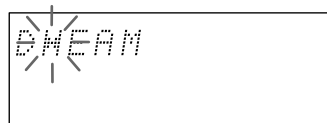
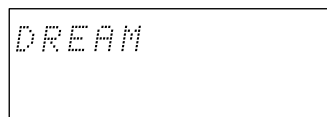
ご注意

2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。

続けて文字を挿入する場合は前ページ手順**3**を、終るときは手順**5**を行います。

◆文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順**1**と**2**を行ってください。

❶ **◀◀または▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷ **MULTI JOGダイヤルを左に回して「Ｍ」を表示し、ダイヤルを押す**

❸ **「文字を入力する」の手順3、4にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は前ページ手順**3**を、終るときは手順**5**を行います。

◆プリセットチャンネルにつけた名前を消去する

❶ **入力をAMまたはFMにする**

❷ **MULTI JOGダイヤルを回して名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ**

❸ **EDIT/CLEAR/NOボタンを（くり返し）押し、MULTI JOGダイヤルを回して「NameErase?」を表示させる**

❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

MD プリセットチャンネルに名前をつける（つづき）

◆リモコンで文字を入力する

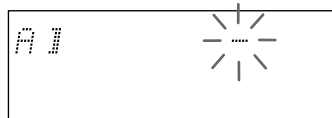
1

NAME

NAMEボタンを押す

2

DISPLAY

1 ア　2 カABC　3 サDEF
4 タGHI　5 ナJKL　6 ハMNO
7 マPQRS　8 ヤTUV　9 ラWXYZ
--/--- ゛゜記号　10/0 ワヲン␣　GROUP

ENTER

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLLボタンを押すと逆順に切り換わります。

●アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、(2 カABC)ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTERボタンを押してください。

●数字を入力するには

数字ボタンを押すと数字が表示されます。

●カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの下に記載されている文字の行が切り換わります。たとえば、(1 ア)ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTERボタンを押してください。

●カンタンネームを入力するには

数字ボタンを押すごとに記載されている頭文字のカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、(2 カABC)ボタンは押すごとにBALLAD、BLUES、CLASSICなどと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてENTERボタンを押してください。

●記号を入力するには

(--/--- ゛゜記号)ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（(--/--- ゛゜記号)ボタンは、␣./＊-,!?&'()、(10/0 ワヲン␣)ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてENTERボタンを押してください。

リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して文字を選び、ENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
文字を挿入するときの「▯」や、その他記号の入力は、リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して選んでください。

3

NAME

NAMEボタンを押して入力を終了する

曲を編集する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

◆編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。（BLANK DISCになります。）

曲を消去する－Erase
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

◆編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
（Divide ＋ Erase）
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
（Move ＋ Combine）
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combineについてのご注意

Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：MONOモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません）
デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

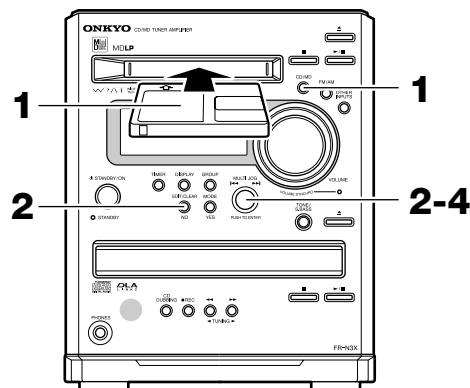
編集／消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、9ページ）
- MEMまたは、RDM、1TR、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常再生モードにしてください。（☞「通常再生にもどす」、45ページ）
- グループを作成したMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

◆全曲消去する－All Erase

入力がMDで停止中

●途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 CD/MD
MDをセットして、入力をMDにする

2 EDIT/CLEAR NO → MULTI JOG PUSH TO ENTER
EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「All Erase?」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

All Erase?

3 MULTI JOG
MULTI JOG ダイヤルを押す

All Erase??

再確認のため、「All Erase??」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4 MULTI JOG
MULTI JOG ダイヤルを押す

Complete

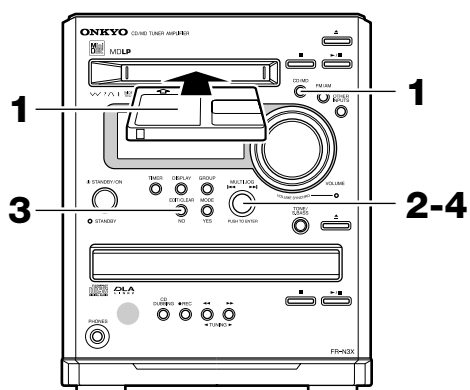
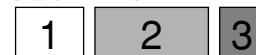
TOC

曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。

曲を編集する（つづき）

◆ 1曲選んで消す－Erase（イレーズ）

入力がMDで停止中/一時停止中

●途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

CD/MD

2

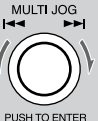
MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して消す曲を選ぶ

3

EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー） ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して「Erase?（イレーズ?）」を表示する

2Tr Erase?

4

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを押す

Complete
TOC

曲が消され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

◆曲を移動する－Move

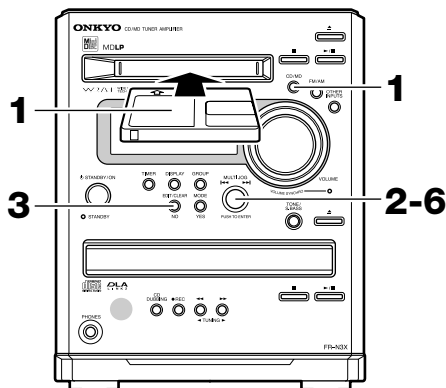
入力がMDで停止中/一時停止中

●途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

CD/MD

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

MD 2Tr 3:16

3

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

2Tr Move?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

2Tr→1Tr ?

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

5

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える

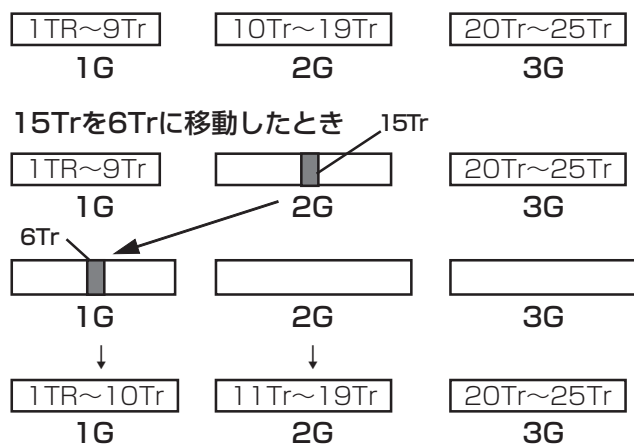
2Tr→4Tr ?

6

MULTI JOGダイヤルを押す

Complete

指定した曲が移動し、「Complete」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

●グループのあるMDの曲を移動したときは
曲が所属するグループが変わる場合があります。
例：

15曲目は6曲目に移動するため、2Gから1Gに変わります。

曲を編集する（つづき）

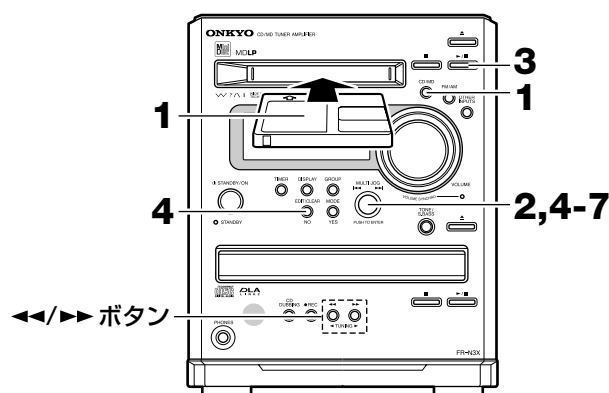
◆曲を分ける－Divide

入力がMDで再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞ 54ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回して分ける曲を再生する

◄◄/►►ボタンで早戻し/早送りができます。

MD　2Tr　300

3

分けたいところでMDの►/IIボタンを押す

一時停止になります。

4

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Divide?」を表示する

2Tr Divide?

5

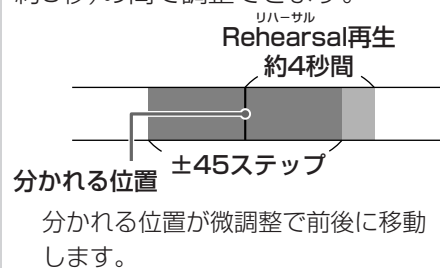
MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

6

音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

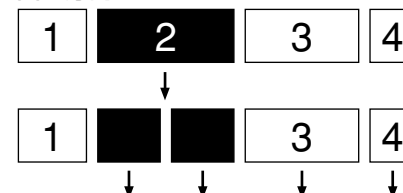
その曲内で数値－45～＋45（SP時 ±約3秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

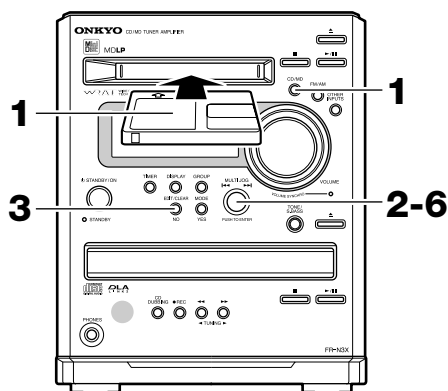
7

MULTI JOGダイヤルを押す

Complete
TOC

曲が2つに分かれ、「Complete」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

◆曲をつなぐ －Combine

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

- ●前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- ●途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 MULTI JOG ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

MD　3Tr　3:16

選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。

3 EDIT/CLEAR/NO ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Combine?」を表示する

3TrCombine?

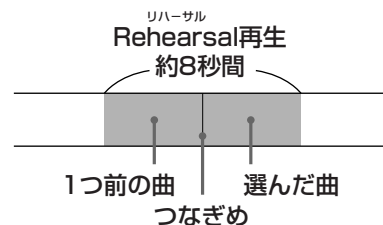
4 MULTI JOG ダイヤルを押す

2Tr+3Tr ?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5 MULTI JOG ダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

「Rehearsal」（確認再生中）と「Track OK?」（つないでいいですか?）が交互に表示され、曲のつなぎめの前後合計約8秒間がくり返し再生されます。

6 MULTI JOG ダイヤルを押す

Complete
TOC

曲がつながり、「Complete」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

●グループのあるMDの曲をつないだときは

違うグループの曲とつなぐ前の曲のグループに入ります。

タイマー機能を使う

SLEEPタイマー、ONCEタイマー、WEEKDAYタイマー、WEEKENDタイマー、RECタイマーの5つがあります。

◆いろいろなタイマー機能の紹介

■ Sleepタイマー

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

■ Once、Weekday、Weekendタイマー（再生のみ）

- ● 設定してある開始時刻になると、自動的に電源が入り、設定した入力の再生が始まります。
- ● 終了時刻になると自動的にスタンバイ状態になります。
- ● Onceタイマーは1度だけ働きます。
- ● Weekdayタイマーは毎週月～金曜日（初期設定）の、指定した同じ時刻に働きます。
  （曜日は変更できます。）
- ● Weekendタイマーは毎週土、日曜日（初期設定）の、指定した同じ時刻に働きます。
  （曜日は変更できます。）

■ Recタイマー（録音）

- ● 設定した曜日の開始時刻になると、電源が入り、設定した入力から設定した機器への録音が始まります。

Recタイマーには以下の2通りの設定があります。

Once：設定した時刻に一度だけタイマー録音を行います。

Every：毎日同じ時刻に一度だけタイマー録音を行います。（曜日は変更できます。）

録音機器には以下の機器が選べます。

- － 本機MD
- － 別売のオンキヨー製カセットテープデッキ*
- － 本機MDと別売のオンキヨー製カセットテープデッキの両方*

- ● 終了時刻になると自動的にスタンバイ状態になります。

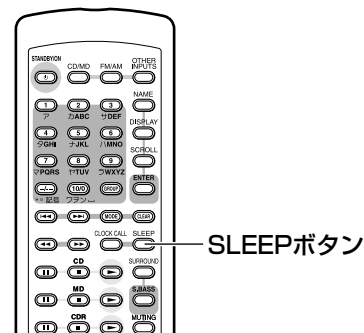
＊ TAPEに録音するためには、外部入力「CD-R」の表示名称を「TAPE」に変更してください。(☞68ページ)

！ヒント

Recタイマー中はMUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。音声を聞きたいときは、リモコンのMUTINGボタンまたはVOLUME ▲/▼ボタンを押して、機能を解除してください。

◆Sleepタイマーを使う

リモコンで操作する

10分単位の時間設定が可能です。

SLEEP ボタンを押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

Sleep 90
SLEEP

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

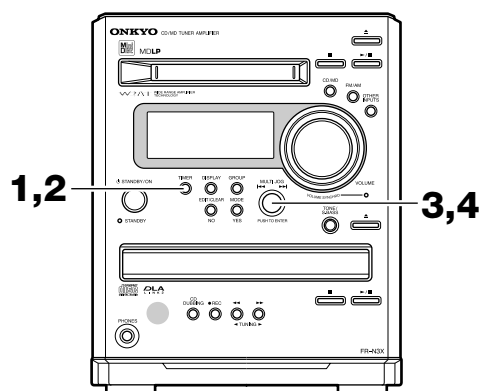
「Sleep off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

CDダビングを終わらせてから自動的に電源が切れるようにするには

CDからMDや、本機に接続した別売のオンキヨー製カセットテープデッキ、CD-RとのCDダビング中にSleepタイマーを働かせると、ダビングが終了してから電源が切れます。この機能を利用して、寝る前や、外出前にCDダビングを始めることができます。

本体で操作する

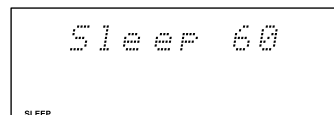
10分単位と1分単位の時間設定が可能です。

1

TIMER ボタンを 1 秒以上押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

2

TIMER ボタンを押す

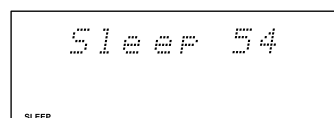
Sleep 60

SLEEP

押すごとに、10分ずつ時間が短くなります。

90→80→....→10→off

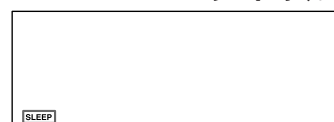
3

1分単位で時間を設定したいときは、MULTI JOGダイヤルを回す

Sleep 54

SLEEP

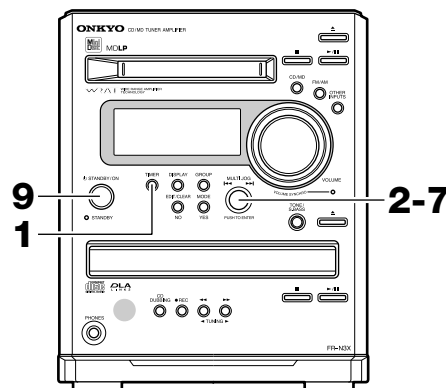
右に回すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。左に回すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

「SLEEP」が点灯

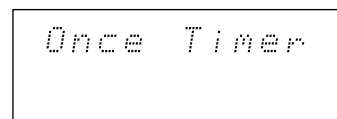
SLEEPタイマーが作動開始します。

◆Once、Weekday、Weekendの各タイマーを設定する(再生のみ)

1

TIMER ボタンを（くり返し）押して設定するタイマーを選ぶ

→ Once Timer→WeekdayTimer→WeekendTimer→Rec Timer※→Clock※→通常表示

※ 時計設定(☞21ページ)、Rec Timer(☞65ページ)は、ここでは選びません。

Once Timer

8秒以内に手順**2**の操作に移ってください。

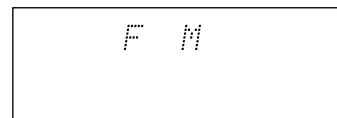
2

MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して演奏するソースを選ぶ

CD ⇔ MD ⇔ FM
⇕ ⇕
LINE※⇔CD-R※⇔AM

※ 名称を変えるとその名称が表示されます。

F M

3

MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して開始時刻を選ぶ

12 時間表示

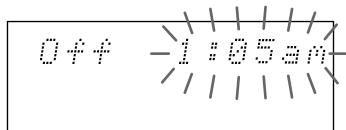
➥ 次ページへ続く

タイマー機能を使う（つづき）

4

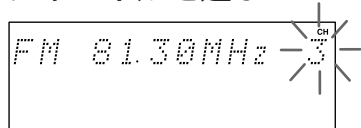
MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して終了時刻を選ぶ

12時間表示

Off 1:05am

開始時刻（On）を設定すると、終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。

5

● **手順2で入力にFMまたはAMを選んだときは MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ**

FM 81.30MHz 3

● **FM、AM以外の入力を選んだときは、**

手順**6**に進んでください。

6

● **Onceタイマーの場合**

手順**7**に進んでください。

● **Weekday、Weekendタイマーの曜日を変える場合**

❶ **MULTI JOGダイヤルを押す。**

表示されている文字が現在設定されている曜日です。

日月火水木金土

❷ **MULTI JOGダイヤルを回して、変更する曜日を選ぶ。**

❸ **MULTI JOGダイヤルを押して、選んだ曜日のオン/オフの設定変更をする。**

押すたびに、交互にオン/オフの設定が変わります。

❹ **他の曜日の設定変更をするときは、手順❷、❸をくり返す。**

❺ **曜日の設定が終わったら、MULTI JOGダイヤルを回して、「Set」を表示する。**

SMTWTF_ Set

7

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Timer On」が表示され、設定したタイマーがオンになります。

ONCE = Once Timer
W.DAY = WeekdayTimer
W.END = WeekendTimer

他のタイマーの設定をするときは、手順**1**から始めます。

8

設定した入力の準備をする

● Once、Weekday、Weekendタイマーで選んだ入力の再生準備（CDをセットするなど）をしてください。

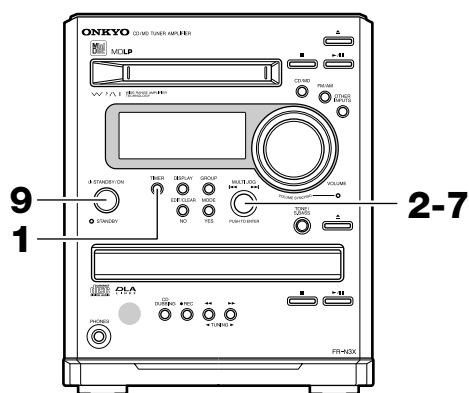
9

電源を切る

電源が入っているとタイマーが作動しません。

ご注意

MDのタイマー再生で、MEMORY、RANDOM、1TR、1GRモードなどを設定しても、タイマーオン時にはノーマル再生になります。

タイマーオン時の音量は、電源を切る直前の音量と同じになります。あらかじめ調整しておいてください。

◆Rec（レック）タイマーを設定する（録音のみ）

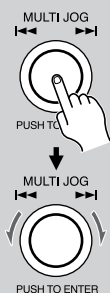
1

TIMER

TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押してRec（レック）タイマーを選ぶ

→ Once（ワンス） Timer（タイマー）→ WeekdayTimer（ウィークデイ タイマー）→ WeekendTimer（ウィークエンド タイマー）→ Rec（レック） Timer（タイマー）→ Clock（クロック）→通常表示

Rec Timer

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押し、ダイヤルを回して入力を選ぶ

FM ⇔ AM ⇔ LINE※

※ 名称を変えるとその名称が表示されます。（☞ 68ページ）
LINE（ライン）はタイマー機能をもつ機器を接続してください。

FM 12:00am

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押し、ダイヤルを回して開始時刻を選ぶ

12時間表示

4

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押し、ダイヤルを回して終了時刻を選ぶ

12時間表示

開始時刻（On）を設定すると終了時間（OFF）は自動的に1時間後の表示となります。

5

● 手順**2**で入力にFMまたはAMを選んだときは
MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押し、ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

FM 81.30MHz –3 CH

● FM、AM以外の入力を選んだときは、

手順**6**に進んでください。

➥ 次ページへ続く

タイマー機能を使う（つづき）

6 曜日設定と録音先の選択をする

❶MULTI JOG ダイヤルを押す
「Once」または「Every」が点滅します。

❷ MULTI JOGダイヤルを回して、「Once」または「Every」を選び、MULTI JOGダイヤルを押す
曜日設定モードになります。

「Once」を選んだ場合

1週間以内の設定した曜日に1度だけ働きます。

MULTI JOGダイヤルを押すと、「NEXT」または曜日点滅表示になります。「NEXT」は24時間以内の、設定した時間にタイマー録音ができます。

曜日を設定する場合はMULTI JOGダイヤルを回して、設定したい曜日を選択してください。

例）

今日の曜日　　設定する曜日

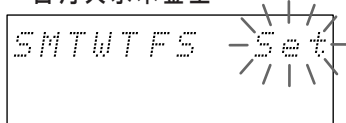
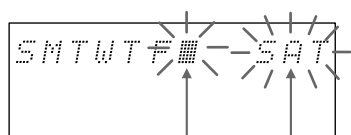
「Every」を選んだ場合

設定した曜日に毎週働きます。

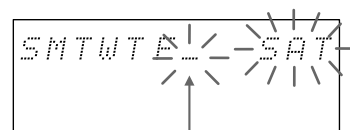
MULTI JOGダイヤルを押すと、下記の表示になります。

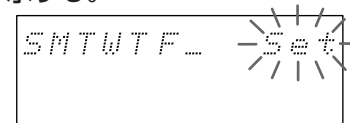
●曜日を変える場合

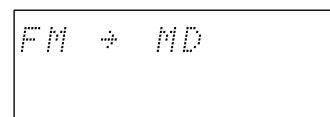
❶ MULTI JOGダイヤルを押す。
表示されている文字が現在設定されている曜日です。

日月火水木金土

❷ MULTI JOGダイヤルを回して、変更する曜日を選ぶ。

選んでいる曜日
（SUN=日、MON=月、TUE=火、WED=水、THU=木、FRI=金、SAT=土）

❸ MULTI JOGダイヤルを押して、選んだ曜日のオン/オフの設定変更をする。
押すたびに、交互にオン/オフの設定が変わります。

オフ

❹ 他の曜日の設定変更をするときは、手順❷、❸をくり返す。

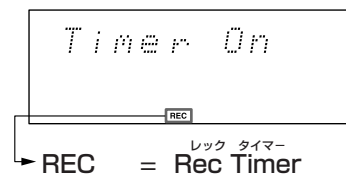
❺ 曜日の設定が終わったら、MULTI JOGダイヤルを回して、「Set」を表示する。

MULTI JOGダイヤルを押し、ダイヤルを回して、録音先を選ぶ

MD ⟶ TAPE*
└MD&TAPE* ←┘

＊TAPEは別売のオンキヨー製カセットテープデッキをシステム接続したときのみ働きます。
また、TAPEおよびMD＆TAPEを選択するためには、外部入力「CD-R」の表示名称を「TAPE」に変更してください。
（☞68ページ）
MD＆TAPEを選ぶと、本機MDとカセットテープデッキで同時に録音ができます。

7 MULTI JOG ダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO

「Timer On」が表示され、設定したタイマーがオンになります。

REC　＝ Rec Timer

8 設定した入出力の準備をする

録音可能なMDを本機にセットします。

9 電源を切る

電源が入っているとタイマーが作動しません。

ご注意

録音レベルの調整、レベルシンクのオン、オフの変更（☞41ページ）が必要なときはあらかじめ設定しておいてください。

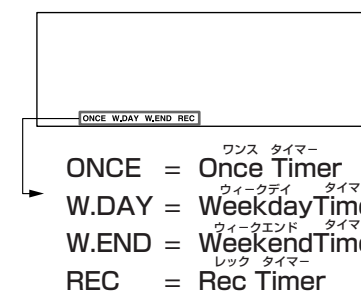
◆Once、Weekday、Weekend、Rec各タイマーをオン、オフする

各タイマーの設定をしたあとでタイマーをオフにしたい、またオフにしたあとでオンにしたいときは以下のようにしてください。

1

各タイマーのオン、オフ状態を確認する

オンになっているタイマーは点灯しています。

2

TIMER ボタンを（くり返し）押して、タイマーを選ぶ

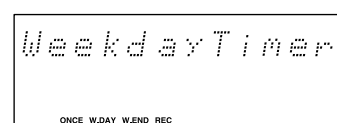
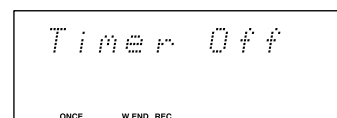
WeekdayTimer

ONCE W.DAY W.END REC

3

MULTI JOG ダイヤルを回す

Timer Off

ONCE W.END REC

オンになっていたタイマーはオフになり、オフになっていたタイマーは前の設定通りにオンになります。

ご注意

タイマーをオンにしたときは、必ずスタンバイ状態にしてください。電源が入っているとタイマーが働きません。

◆タイマーが重なったときは

Once/Weekday/Weekend/Recの2つ以上のタイマーが同じ開始時刻に設定されているときは

Once/Weekday/Weekend/Recの順に優先されます。

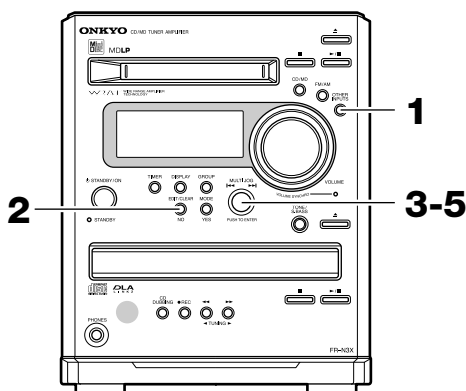
他のタイマーの作動中に別のタイマーの開始時刻になったときは

先に作動したタイマーが優先され、重なったタイマーは無効となります。先に作動するタイマーの終了時刻と後のタイマーの開始時刻には、必ず1分以上の間隔をあけてください。

電源が入っていたり、他のタイマーと重なって作動しなかったRecのOnceタイマー、Onceタイマーは

自動的に予約が解除（オフ）されます。

外部入力機器の表示名称を変える

接続した外部機器（☞ 16ページ）に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

OTHER（アザー） INPUTS（インプット） ボタンを（くり返し）押して、名称を変える外部入力を選ぶ

CD-R（シーディーアール） ↔ LINE（ライン）

2

EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー） ボタンを押して、「Name（ネーム） Select?（セレクト?）」を表示する

Name Select?

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを押す

4

PUSH TO ENTER

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して名称を選ぶ

入力による名称選択

CD-R⇔TAPE⇔DAT⇔VIDEO
⇕ ⇕
PC ⇔ HD ⇔ MD2

LINE⇔DVD⇔VIDEO DISC⇔ BS
⇕ ⇕
GAME ⇔ T V ⇔ CS-PCM ⇔ C S

5

MULTI JOG
PUSH TO

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを押して決定する

Complete

「Complete（コンプリート）」が表示されます。
MODE（モード）/YES（イエス）ボタンを押しても同じです。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
BS	BS
CD-R	CR
CS	CS
CS-PCM	CP
DAT	DT
DVD	DV
LINE	LI
MD2	M2
PC	PC
TAPE	TA
TV	TV
VIDEO	VI
VIDEO DISC	VD
HD（ハードディスク）	HD
GAME	GM

UXW-3.1と組み合わせて使用するときは

● オンキヨー製デジタルシアターシステム(UXW-3.1)でサラウンド音声を楽しむ

本機は2つのスピーカーを使用する2チャンネルステレオ機器ですが、別売りのUXW-3.1を接続すると5.1チャンネル再生で迫力のある音場がお楽しみ頂けます。また、オーディオ用ピンコードとRIケーブルを接続することで本機との連動が可能です。
UXW-3.1の取扱説明書と合わせてご覧ください。

● 接続について

19ページの通りに接続をしてください。

● オートパワーオン

本機や本機に接続されているオンキヨー製機器の電源が入るとUXW-3.1の電源が自動的に入ります。
また、本機の電源を入、切しますと接続されている機器全体の電源が入ったり、切れたりします。

● ダイレクトチェンジ

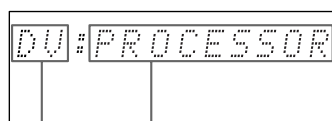
本機やUXW-3.1に接続されているオンキヨー製機器を再生すると、本機の入力が自動的に切り換わります。

● 音量の調節について

電源が入ると本機のボリュームシンクロインジケーターが緑色に点灯します。音量調節つまみは動作しません。
本機に付属しているリモコンのVOLUME▲/▼ボタンまたはUXW-3.1の音量調節つまみで調節します。

- 本機の音量調節ツマミを回すと"Volume Sync"と表示して、音量調節できないことを知らせます。

● UXW-3.1でサラウンドを楽しむ

- UXW-3.1のINPUTボタンを押して "LINE" 以外を選択すると、本機以外の選択した機器の音もサラウンドでお楽しみいただけます。
- 18ページの通りに接続されたオンキヨー製DVDプレーヤーを再生すると、自動的にUXW-3.1の入力が切り換わり、DVDの音が再生されます。また、DVDプレーヤーの音はアナログでMDや本機に接続したカセットテープデッキ、CDレコーダーに録音できます。
このとき本機には以下のように表示されます。

UXW-3.1に接続された機器の音が鳴っていることを示します。

本機に付属しているリモコンのボタンが働く機器を示します。
(省略表示:この例ではDVDです。)
また、表示されている機器がMDやテープデッキ、CD-Rに録音されるソースです。

- 本機でCDダビング機能を使用しながら、UXW-3.1に接続された機器の音を楽しむことができます。
(シンクロ録音、シグナルシンクロ録音ではできません。)
- UXW-3.1の音を再生しているときは、本機のCDやMD、ラジオの操作はできません。
- UXW-3.1のみに接続されている機器は、本機MDや本機に接続されたカセットテープデッキ、CDレコーダーに録音することはできません。
録音するときは本機のCD-R端子、LINE端子に接続する必要があります。
- UXW-3.1のみに接続されている機器は本機のタイマー機能で操作できません。

● サラウンドモードを変更する(UXW-3.1の取扱説明書もご覧ください)

- 本機に付属しているリモコンのSURROUNDボタンまたは本体のTONE/S.BASSボタンでUXW-3.1のサラウンドモードが変更できます。
- 本機のS.BASS等の音質調整はできません。
- UXW-3.1がステレオモードに切り換わったときは、本機に"Stereo"、サラウンドモードのいずれかに切り換わったときは本機に"Surround"と表示されます。

● UXW-3.1を使わずに本機のスピーカーだけで楽しむには(2チャンネル再生)

- UXW-3.1のSTANDBY/ONボタンを押して、UXW-3.1をスタンバイ状態にします。
- 本機のボリュームシンクロインジケーターがオレンジ色に変わり、本機のボリュームつまみが動作するようになります。UXW-3.1にのみ接続されている機器は本機だけで再生することはできません。
本機で再生中にUXW-3.1の電源を入/切すると音量が変わって大きな音になることがあります。■ボタンや入力切り換えで再生を止めたり、一度MUTINGボタンを押してからUXW-3.1の電源の入/切を行ってください。

● ヘッドホンで楽しむには(UXW-3.1の取扱説明書もご覧ください)

- 本機のPHONES端子にヘッドホンのミニプラグを接続します。本機のスピーカーの音が消えます。
(UXW-3.1の音は聞こえます。)
- UXW-3.1のSURROUNDボタンか本機のリモコンのSURROUNDボタン、または本機のTONE/S.BASSボタンを2秒以上(本機に"Headphone"と表示されるまで)押しつづけてください。UXW-3.1のスピーカーの音が聞こえなくなります(Headphone Mode)。
- ヘッドホンから聞こえる音はステレオになります。
- スピーカーで聞くときは、もう一度UXW-3.1のSURROUNDボタンか本機リモコンのSURROUNDボタン、または本機のTONE/S.BASSボタンを2秒以上(本機に"Stereo"か"Surround"と表示されるまで)押しつづけてください。UXW-3.1のスピーカーの音が聞こえるようになります。

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間（60分、74分、80分）に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
  MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。
- **MDへの録音のしかたによっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
- **曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**
- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**
- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」表示が長く表示されます。
- **MDには最大1792文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。
- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

> MDLPについて
> LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

ご使用状況により、メッセージが表示されます。意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「MDについて」、9ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。
Cannot Set	タイマー動作中にタイマー設定しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、左項参照)。
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例：ア゙
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。（CD、MD）
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。
Recording	録音中に入力を換えようとした。録音中にできないCDやTUNERの操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
Time Protect	CD倍速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD倍速ダビングしようとした。
TOC Error	MDの読み取りや書き込みに失敗した。
Text Protect	CDテキストに著作権があります。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
●文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。（20）
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示管にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。（62）
- タイマー演奏、録音は終了時刻にスタンバイになります。（63）

音に関して

音声が出ない

- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？（14）
- ボリュームが最小/MINになっていませんか?（20）
- ミューティング機能が働いていませんか？
  “MUTING”と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。（42）
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。（10）

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの+/－が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。（14）
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。

CD/MDに関して

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないMDが入っていませんか、録音されているMDと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。（8）

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い
オートプリセットで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（15）
- アンテナの位置を変えてみてください。（29）
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。（30）
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナをお薦めします。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常3日間は保持されます。万一プリセットチャンネルが消えてしまった場合はプリセットを再度行ってください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（12）
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

外部機器との接続

接続した機器の音が出ない

- フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは、別売のフォノイコライザーを中継してください。

困ったときは（つづき）

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

タイマー演奏・録音に関して

タイマー演奏･録音しない

- 現在時刻/日付は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー演奏、録音はできません。現在時刻/日付を設定してください。（21）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（64、66）
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。（67）
- タイマー演奏はスタンバイ状態にした時の音量が反映されます。スタンバイにする前に適当な音量に調節しておいてください。（64）
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
- タイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。（66）

テレビ映像の色がにじむ

- テレビからスピーカーを離してください。

MDの録音/編集に関して

MDの録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報はMDを取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される（70）
- 再生用のMDです。録音用と交換してください。

「Protected」と表示される（70）
- MDが記録不可状態になっています、解除してください。（9）

「Disc Full」と表示される（70）
- MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。

「Retry Error」と表示された（70）
- いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。

アナログ入力時、録音レベルが小さい

- 録音レベルを調整してください。（40）

「CDダビング」ができない

「CD Dub Fail」と表示される。（70）
- MDのメカが動いています。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行なってください
- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。

「CD倍速ダビング」ができない。
- CDがリピート、メモリー、ランダム再生モードになっているとCD倍速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
  また、倍速ダビング開始後、同じCDを74分以内に倍速ダビングすることはできません。（33）

「ＣＤ倍速ダビング」で音とびがする
- CD倍速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
  音とび、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない

- 表示部に「MD　Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

名前がつけられない

- MDは録音用を使用し録音不可状態は解除してください。（9）
- リピート、メモリー、ランダム、1GR、1TR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。

MDの編集ができない

- MDは録音用を使用し録音不可状態は解除してください。
- メモリー、ランダム、1GR、1TR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。（45）
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（57）
- また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（ LP2とLP4など）（57）

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

CDに関して

CDテキストが表示されない

- ディスク名、トラック名はそれぞれ100文字、ディスク内の総文字数は900文字を超えていると表示できません。
- CDテキストの入っていないCDを使っている。

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いCDの場合読み込みに時間がかかることがあります。

困ったときは

UXW-3.1と組み合わせて使用時に困った/連動しない

- 正しく接続はされていますか？オーディオ用ピンコード、RIケーブルを正しく接続してください、外部入力機器の表示名称を正しく変更してください。

音声に関して

- 本機のボリュームは働きません。本機に付属のリモコンまたはUXW-3.1のボリュームで音量を調整します。ヘッドホン使用時、UXW-3.1からの音は聞こえます。聞こえなくするには本機に付属しているリモコンのSURROUNDボタンを2秒以上押します。

<音質について>
電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行なってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

修理について

◆保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

◆調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

◆保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

◆補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

▶ お 名 前
▶ お 電 話 番 号
▶ ご 住 所
▶ 製 品 名　X-N3X
▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

主な仕様

FR-N3X

■ 一般仕様

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	42W
クロック精度	月差±20秒（25℃）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	155×190×361mm
質量	4.6kg

■ アンプ部

実用最大出力	18W＋18W（EIAJ、4Ω） 17W＋17W（EIAJ、5Ω）
定格出力	13W + 13W（4Ω） 12W + 12W（5Ω）
入力	
アナログ	LINE、CDR/TAPE ：RCA L/R 300mV/47kΩ PROCESSOR ：RCA L/R 1V/47kΩ
出力	
アナログ	CDR/TAPE ：RCA L/R 240mV/2.2kΩ PROCESSOR ：RCA L/R 300mV/2.2kΩ SUBWOOFER ：RCA 1V/680Ω
デジタル	×1 光（OPTICAL）
全高調波ひずみ率	0.4%（1kHz定格出力時）
周波数特性	10Hz～100kHz/＋3.5、－3dB
トーンコントロール	BASS 7段階（−7,−5,−2.5,±0,+2.5,+5,+7dB） TREBLE 7段階（−7,−5,−2.5,±0,+2.5,+5,+7dB）
スーパーバス	50Hz＋10dB
ミューティング	50dB

■ CD部

形式	光学式（コンパクトディスク方式）
読み取り方式	非接触光学式
周波数特性	10Hz～20kHz（±2dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ MD部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式
録音時間	最大320分(LP4、80分ディスク使用時)
周波数特性	10Hz ～20kHz（±2dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下

■チューナー部

受信周波数	FM 76.0～108.0MHz AM 522～1629kHz
感度（FM）	18.8dBf（2.4μV、75Ω、SN 50dB）
SN比（FM）	70dB（MONO） 67dB (STEREO)
ステレオセパレーション（FM）	30dB（100-10kHz ）

■ リモコン RC-491S

方式	赤外線
信号到達距離	約5m
使用電池	単3型（1.5V）乾電池2個

■ スピーカー部（D-N3X）

形式	2ウェイ　バスレフ型
定格インピーダンス	5Ω
最大入力	70W
定格感度レベル	84dB/W/m
定格周波数範囲	60Hz～35kHz
クロスオーバー周波数	10kHz
キャビネット内容積	3.8ℓ
使用スピーカー	ウーファー：12cm コーン型 ツィーター：2.5cm ドーム型
外形寸法(幅×高さ×奥行)	130×220×216mm （サランネット、突起部含む）
質量	各 2.9kg

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

X-N3X(P69-76)(SN29343348A) 74 02.11.18, 2:12 PM

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail：ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル　0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口　修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは.」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619
〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330
〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

茨城・栃木地区
宇都宮サービスステーション
TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308
〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7

群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137
〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124
〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3
ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312
〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603
〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13
共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331
〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604
〒552-0013　大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571
〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672
〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358
〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-6502
〒424-0063　静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768
〒910-0001　福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840
〒703-8271　岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475
〒862-0970　熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195
〒901-2104　沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2001年12月現在　お客様相談窓口・修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

G -1

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　（　　）

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343348A

Printed in Japan
G0210-2